

LCD モニター

型名 **GM-F520S**
GM-F470S
GM-F420S



イラストはGM-F470Sです。



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 特に「安全上のご注意」(2、3ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

目次

安全上のご注意	2
その他のご注意	3
お手入れのしかた	3
設置	4
各部の名前と働き	5
接続	6
対応信号フォーマット	8
基本操作	10
メニュー操作	12
メインメニューの設定	13
セットアップメニューの設定	15
人感センサーを使う	18
人感センサーの概要	18
取り付けと接続	18
人感センサーの設定	19
外部制御の使いかた	20
外部制御の概要	20
シリアル方式での外部制御	21
MAKE/TRIG.方式での外部制御	22
LAN方式での外部制御	23
故障かな?と思ったら	25
自己診断表示	27
保証とアフターサービス	28
主な仕様	29
一般	29
入出力端子	30
外形寸法図	30

安全上のご注意(必ずお守りください)

2

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

注意 「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

警告

表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない



禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない



禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない



感電注意

電源コードを傷つけない

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない



禁止

接続する装置の消費電力の合計が2Aを超えて使わない。

- 火災の原因となります。本機のACアウトレットが供給できる電力は2Aです。(電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しない。)



禁止

本機の裏ぶた、カバー、キャビネットをはずしたり改造したりしない



分解禁止

通気孔をふさがない

- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- 横倒し、逆さまの状態で使用しない



禁止

内部に物を入れない

感電の原因となります。特にお子様には十分注意してください。



禁止

本機の上に水の入ったものを置かない



禁止

不安定な場所に置かない



禁止

風呂場などの水のある場所で使わない



水場での使用禁止

動作使用条件(温度、湿度)に注意して設置する

動作使用条件の範囲内で設置するようにしてください。(※29ページ「動作使用条件」) 本機は熱を帯びる構造になっています。取り扱いには十分気をつけてください。



一般的注意

壁にかけるときは、販売店(専門の業者)に依頼する

壁にかけるときは必ず販売店(専門の業者)にご依頼ください。一般の方が行くと、落下して本機が破損するだけでなく、けがや感電の原因となり、大変危険です。



一般的注意

壁や他の機器と間隔をあけて設置する

放熱をよくするため、周囲との間に距離を保つようにしてください。(※4ページ) 本機は若干熱を帯びる構造になっています。過熱防止のため空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。



一般的注意

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと



一般的注意



感電注意

禁止されていること



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水場での使用禁止

実行して欲しいこと



プラグをコンセントから抜く



アース線をつなぐ



次のことが起こった場合は

- 煙が出ている、異臭がする。
- 映像が映らない、音が出ない。
- 内部に水や物が入った。
- 落下などにより破損した。
- 電源コードが傷んだ。

電源を切る。

電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。



プラグをコンセントから抜く

注意

電源プラグはコードの部分を持って抜かない



禁止

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない



禁止

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む



一般的注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



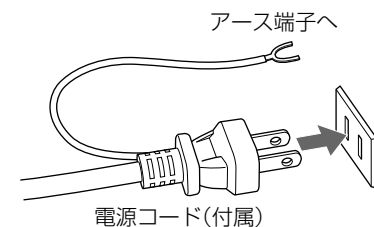
ぬれ手禁止

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。



アース線をつなぐ



付属の電源コードから出ている緑色のアース線を、建物に備えられているアース端子につないでください。アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース線をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントからはずしてから行なってください。

⚠ 注意

付属の電源コード以外は
使用しない



禁止

付属の電源コードを他の
機器に使用しない



禁止

長時間使用しないときは、
電源プラグを抜く



プラグをコンセ
ントから抜く

お手入れをするときは、
電源プラグを抜く



プラグをコンセ
ントから抜く

移動するときは、電源プ
ラグや接続コード類を
はずす



プラグをコンセ
ントから抜く

電源コードを抜くときは、
壁側のコンセントから先
に抜く



プラグをコンセ
ントから抜く

主電源の入/切について

本機は背面の電源スイッチで主電源
を入/切します。背面の電源スイッチ
を入/切できないところに設置した
場合は、電源プラグを抜き差しして
主電源を入/切してください。そのと
き、本機をできるだけコンセントの
近くに設置し、電源プラグを抜き差
しするのに十分な空間を確保してく
ださい。確保できないときは、簡単に
主電源を入/切できる遮断装置を屋
内の配線に設置してください。



プラグをコンセ
ントから抜く



一般的
注意

次のような場所に置かない

- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気
があたるところ
- ・ 熱器具の近くなど
- ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ



禁止

本機は重いので、必ず2人以上
で持つ



一般的
注意

スタンドに設置するときは、必
ず専用のスタンドを使用して、
正しく設置する



一般的
注意

スタンドを正しく取り付けないと、床や本
機を傷付けたり、本機が転倒したりする恐
れがあります。(※4ページ「設置」)

スタンドに設置するときは、転
倒・落下防止の処置をする



一般的
注意

地震や不慮の事故などで、本機が倒れた
り、設置場所から落下したりすると、本機
が破損するだけでなく、けがや感電の
原因となることがあり、大変危険です。
スタンドに設置するときは、転倒・落下を
防止するための処置をしてください。
(参考例: ※4ページ「転倒防止のために」)

本機の上に重い物を置かない



禁止

本機の上に乗らない、
ぶら下がらない



禁止

液晶画面に衝撃を与えない(も
のを当てたり、先の尖ったもの
で突いたりしない)



禁止

長時間、音が歪んだ状態で
使わない



禁止

1年に1度は内部の点検を販売
店に依頼する



一般的
注意

液晶ディスプレイが破損し、液
状の内容物が流出して皮膚に
付着した場合は、流水で15分
以上洗浄してください。その
後、医師に相談してください。



一般的
注意

その他のご注意

お手入れのしかた

画面

画面に「ムラ」「変色」「キズ」「欠陥」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので、次
のことに注意してください。

- ・ のりやテープなどを貼らない
- ・ ペンなどで書き込みをしない
- ・ 硬いものにぶつけない
- ・ 結露させない
- ・ アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤などでふかない
- ・ 強くこすらない

画面の汚れを取り除く場合には、柔らかい布を使ってからぶき・かたく絞った水ぶき・薄めた中性
洗剤でかたく絞った水ぶきを行なってください。

キャビネット

キャビネットが変質したり、傷ついたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意して
ください。

- ・ アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤などでふかない
- ・ 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ・ ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
- ・ 強くこすらない

キャビネットの汚れを取り除く場合には、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい
ときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてく
ださい。

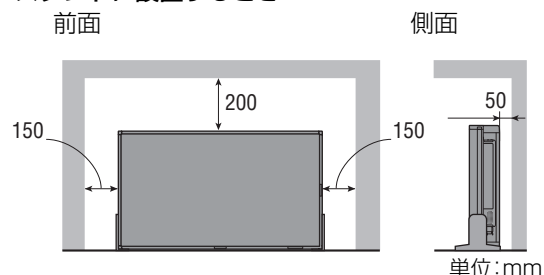
通気孔

通気孔に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布
で拭き取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなく
なり、故障の原因となることがあります。

設置するときの注意

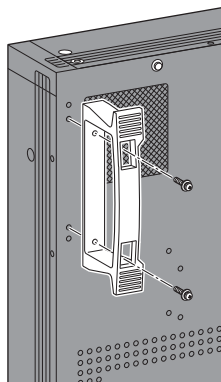
- ・本機を壁に取り付けるときは、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ・電源コード、接続ケーブルは引っかからないように、床の隅に配線してください。
- ・放熱をよくするため、周囲には下図の空間距離（最低距離）を保つようにしてください。
- ・設置場所によっては（天井の近くなど）、周囲の影響を受け、正しくリモコン操作ができないことがあります。このようなときは影響のでない場所に本機を移動してください。
- ・据え付け場所の周囲温度が、0℃～40℃の範囲になるよう使用してください（設置環境により多少異なります）。
- ・他のAV機器と相互に悪影響を与える設置はしないでください。（例えば、電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音や赤外線リモコンの誤動作が発生したときは設置場所を変えてください。）
- ・本機を据え付けるときは、内蔵ファンの通気孔をふさがないでください。通気孔をふさぐと、内部の温度が調整できなくなり、故障の原因となることがあります。

スタンドに設置するとき



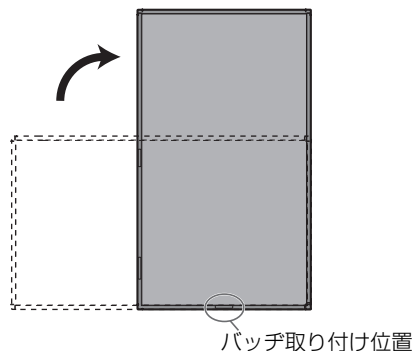
背面の取っ手は、図のように取りはずすことができます。

- ・取りはずしたネジは、もとの穴に取り付けておいてください。



本機を縦型で使用するとき

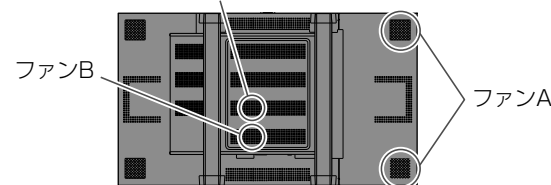
- ・下図のような向きで使用してください。
- ・内蔵ファンの回転数を「HIGH」に設定してください。（「COOLING MODE」16ページ）
- ・前面のロゴのバッジは、取りはずして位置を変えることができます。バッジの移動先に貼り付けられているシールをはがしてバッジを取り付け、ネジで固定してください。



ファンの位置

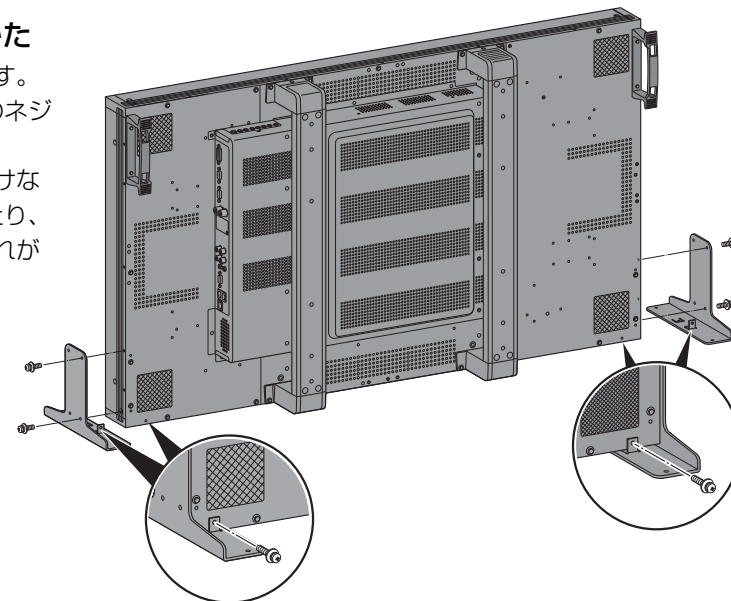
- ・内蔵ファンの回転数（「COOLING MODE」16ページ）を「LOW」に設定すると、ファンAが止まります。
- ・ファンBは、電源がオンのときは常に回転しています。

ファンA (GM-F520Sのみ)



スタンドの取り付けかた

- ・スタンドは左右があります。イラストを参考に、付属のネジで固定してください。
- ・スタンドを正しく取り付けないと、床や本機を傷付けたり、本機が転倒したりする恐れがあります。

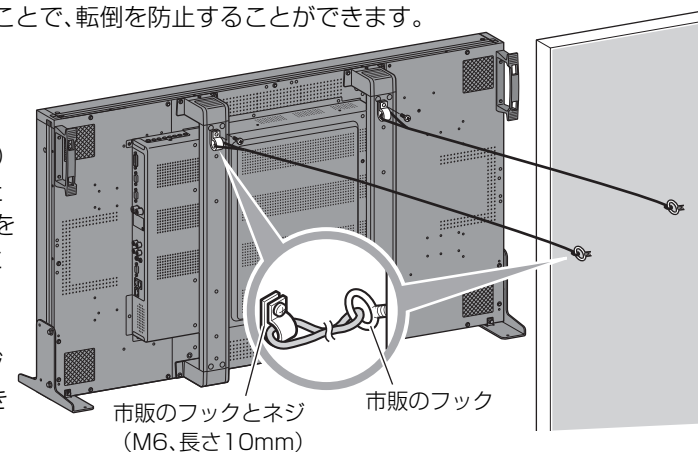


転倒防止のために(参考例)

本機をひもで壁に固定することで、転倒を防止することができます。

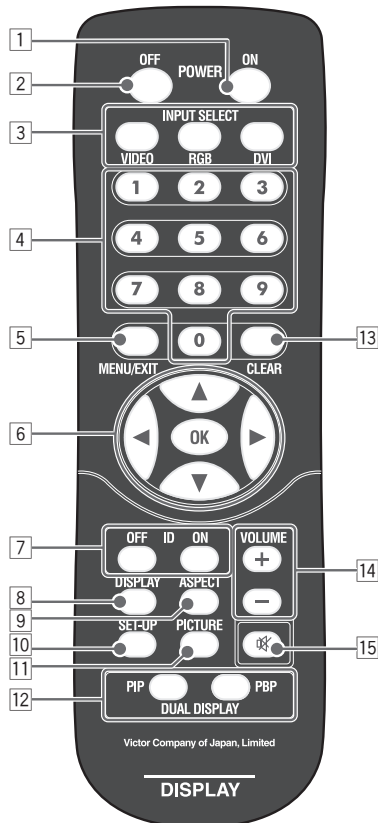
固定のしかた

本機背面にあるVESAマウント用ネジ穴に、市販のフックとネジ(M6、長さ10mm)を取り付けます。取り付けしたフックに市販の丈夫なひもを結び、壁面や柱など堅牢部に固定します。スタンド底面の孔を利用して、設置場所(机など)にネジ(M6)で固定することもできます。



各部の名前と働き

リモコン



- 1 **POWER ONボタン**
モニターをオンにします。
- 2 **POWER OFFボタン**
モニターをオフ(スタンバイ)にします。

- 3 **INPUT SELECTボタン**(※10ページ)
入力を切り換えます。
- 4 **数字ボタン**
- 5 **MENU/EXITボタン**(※12ページ)
 - ・メインメニューを表示します。
 - ・メニュー操作を終了します。
- 6 **▲▼◀▶ボタン**(※12ページ)
メニューを操作します。
- OKボタン**(※11、17ページ)
入力した数字を決定します。
- 7 **IDボタン**(※11ページ)
IDを割り付けたモニターを操作するときに押します。
- 8 **DISPLAYボタン**(※11ページ)
現在の入力の情報(ステータス)を表示します。
- 9 **ASPECTボタン**(※10ページ)
画面サイズを切り換えます。
- 10 **SET-UPボタン**(※12ページ)
セットアップメニューを表示します。
- 11 **PICTUREボタン**(※11ページ)
画質を切り換えます。
- 12 **DUAL DISPLAYボタン**(※11ページ)
二画面表示をオン/オフします。
- 13 **CLEARボタン**(※17ページ)
入力した数字を取り消します。
- 14 **VOLUME +/−ボタン**
音量を調節します。
- 15 **消音ボタン**(※10ページ)
消音します。

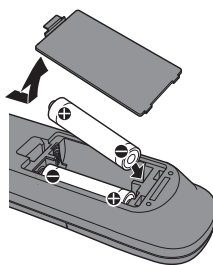
リモコンに乾電池を入れるには

ご注意

- ・乾電池ケースのプラス(+)とマイナス(−)の表示どおりに入れてください。
- ・ショートを防ぐため、必ず乾電池のマイナス(−)側を先に入れてください。

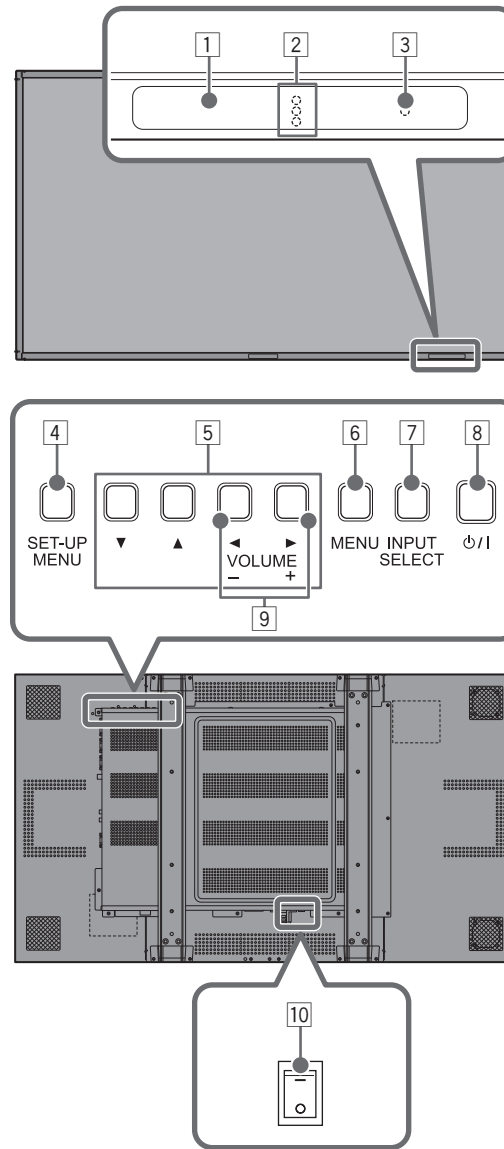
お知らせ

- ・乾電池は普通の使いかたで、約6か月から1年間使えますが、付属の乾電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。操作しにくになったら、新しい乾電池に交換してください。



本機の付属品については、31ページの「付属品一覧」をご覧ください。

モニター



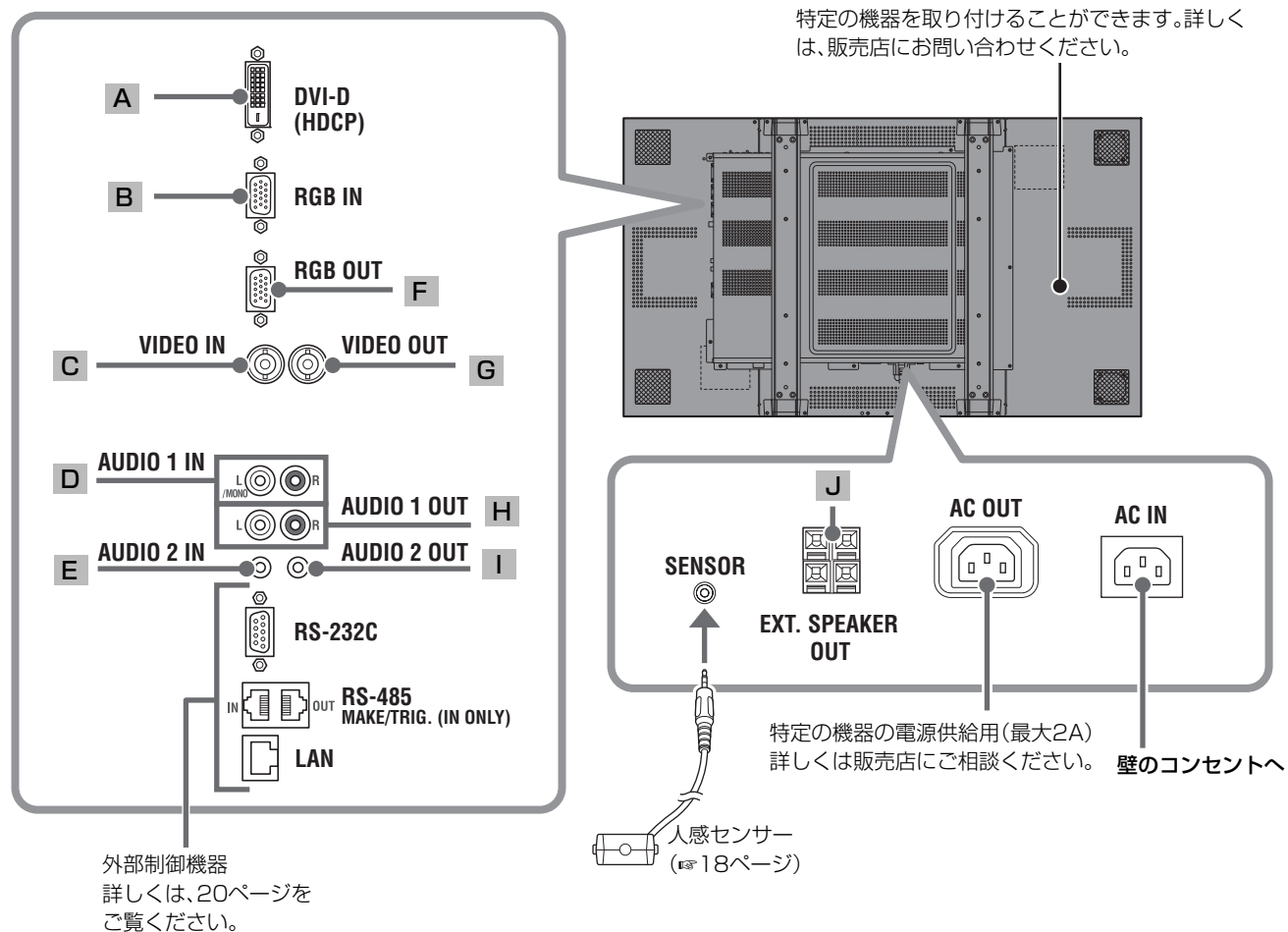
- 1 **リモコン受光部**
リモコンの先端をここに向けます。
- 2 **自己診断表示ランプ**(※27ページ)
本機に異常が起きたときに点灯/点滅します。
- 3 **電源ランプ**
消灯:主電源「切」
緑色(点灯):電源「入」
オレンジ色(点灯):電源「切」(スタンバイ)
- 4 **SET-UP MENUボタン**(※15ページ)
セットアップメニューを表示します。
- 5 **▲▼◀▶ボタン**(※12ページ)
メニュー項目の選択と設定をします。
- 6 **MENUボタン**(※12ページ)
 - ・メインメニューを表示します。
 - ・メニュー操作を終了します。
- 7 **INPUT SELECTボタン**(※10ページ)
入力を切り換えます。
- 8 **o/Iボタン**(※10ページ)
モニターをオン/オフ(スタンバイ)します。
- 9 **VOLUME +/−ボタン**(※10ページ)
音量を調節します。
- 10 **POWER (主電源)スイッチ**
「I」(オン)」にすると、リモコンや本体の電源ボタンで本機の電源をオン/オフできます。

この取扱説明書では、説明のためGM-F470Sのイラストを使用しています。

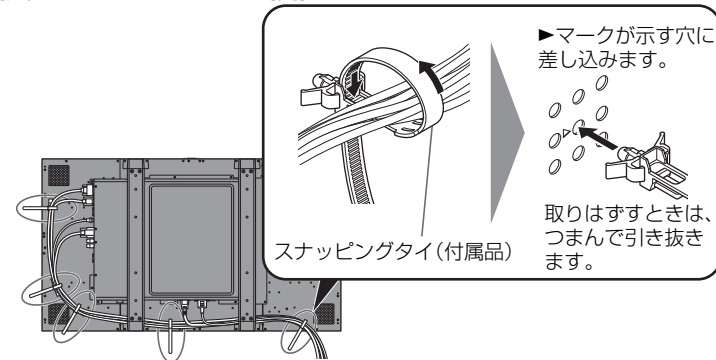
本機の入出力端子(A～J)に機器を接続するときは、下図と次ページの表をご覧ください。最適な端子を選んでください。

ご注意

- 各機器の電源を切ってから接続を行なってください。
- 電源コードはすべての接続が終わってからつないでください。
- 各機器の取扱説明書もご覧ください。
- スピーカーコードの⊕、⊖をショートさせないでください。(取り付けの際はスピーカーの取扱説明書もあわせてお読みください。)



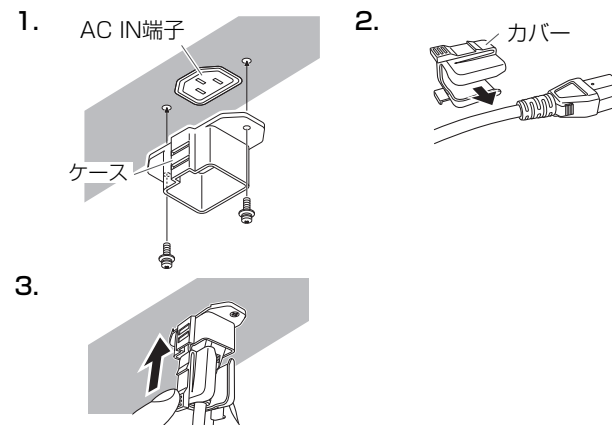
接続コードのまとめかた(例)



電源コードホルダー(付属品)の取り付けかた

本機の電源コードが抜けるのを防ぐため、背面のAC IN端子にホルダーを取り付けます。

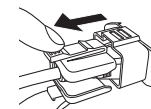
- 電源コードホルダーはケースとカバーの2つで構成されています。



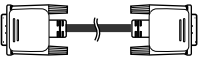
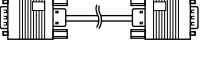
ご注意

- 付属のネジ以外は使用しないでください。
- カバーをケースにはめこんでから、プラグが抜けないかどうかをご確認ください。

カバーをはずすときは...



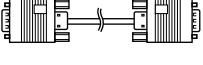
映像入力端子

	入力端子(本機)	接続コード	出力端子(他機)	備考
A	DVI  DVI-D(HDCP) IN	 DVIケーブル	 DVI出力	HDCPに対応しています。映像が正しく表示されないときは、「DVI MODE」の設定を変えてください。(※13ページ)
B	RGB  RGB IN	 D-sub 15ピンケーブル	 RGB出力	
C	VIDEO  VIDEO IN	 BNCケーブル	 映像出力	IN端子とOUT端子はブリッジ接続されています。OUT端子に接続した機器で正しく終端されていないと、映像が明るくなったり、画面が異常となります。

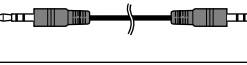
音声入力端子

	入力端子(本機)	接続コード	出力端子(他機)	備考
D	AUDIO 1 L  R  AUDIO 1 IN	 音声ケーブル	 音声出力 (ピンジャック)	接続に合わせて「AUDIO ASSIGN」を設定してください。(※13ページ) モノラル音声信号はAUDIO IN L/MONO端子に入力してください。
E	AUDIO 2  AUDIO 2 IN	 ステレオミニプラグケーブル	 音声出力(ステレオミニジャック)	

映像出力端子

	出力端子(本機)	接続コード	入力端子(他機)	備考
F	 RGB OUT	 D-sub 15ピンケーブル	 RGB入力	RGB映像信号は、バッファ出力されます。
G	 VIDEO OUT	 BNCケーブル	 映像入力	IN端子とOUT端子はブリッジ接続されています。OUT端子に接続した機器で正しく終端されていないと、映像が明るくなったり、画面が異常となります。

音声出力端子

	出力端子(本機)	接続コード	入力端子(他機)	備考
H	L  R  AUDIO 1 OUT	 音声ケーブル	 音声入力 (ピンジャック)	IN端子とOUT端子はブリッジ接続されています。
I	 AUDIO 2 OUT	 ステレオミニプラグケーブル	 音声入力 (ステレオミニジャック)	
J	 EXT. SPEAKER OUT	スピーカーコード	 スピーカー端子	メインメニューの「AUDIO SETTING」で「SPEAKER SELECT」を「EXT.」に設定します。(※13ページ) 以下の仕様のスピーカーを接続してください。 インピーダンス 6Ω～8Ω 定格入力 7W以上

対応信号フォーマット

本機では、次の信号フォーマットに対応しています。

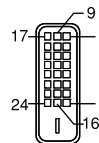
ビデオ信号

○:入力可 / —:入力不可

信号名	周波数		入力端子			備考
	水平 (kHz)	垂直 (Hz)	VIDEO	RGB	DVI-D	
NTSC 3.58	15.734	59.94	○	—	—	
PAL-M	15.734	59.94	○	—	—	
PAL	15.625	50.00	○	—	—	
PAL-N	15.625	50.00	○	—	—	
SECAM	15.625	50.00	○	—	—	
BW/60	15.734	59.94	○	—	—	
BW/50	15.625	50.00	○	—	—	
480/60i	15.734	59.94	—	○	—	
576/50i	15.625	50.00	—	○	—	
480/60i (pixel repetition)	15.734	59.94	—	—	△	コンピューターや一部の機器からの信号は映らないことがあります。
576/50i (pixel repetition)	15.625	50.00	—	—	△	
480/60p	31.489	59.94	—	○	△	
576/60p	31.250	50.00	—	○	△	
640*480/60p	31.469	59.94	—	—	△	
720/60p	31.469	59.94	—	—	○	
720/50p	22.478	29.97	—	—	○	
1080/60i	33.716	59.94	—	○	△	コンピューターや一部の機器からの信号は映らないことがあります。
1080/50i	28.125	50.00	—	○	△	
1080/60p	67.433	59.94	—	○	○	
1080/50p	56.250	50.00	—	○	○	

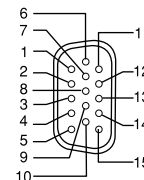
- アナログRGB入力の1080/60pと1080/50pの信号は、同期信号によっては、正常に映らない場合があります。

DVI-D(HDCP)端子の仕様



ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号
1	T.M.D.S Data 2-	9	T.M.D.S Data 1-	17	T.M.D.S Data 0-
2	T.M.D.S Data 2+	10	T.M.D.S Data 1+	18	T.M.D.S Data 0+
3	T.M.D.S Data 2/4 shield	11	T.M.D.S Data 1/3 shield	19	T.M.D.S Data 0/5 shield
4	NC	12	NC	20	NC
5	NC	13	NC	21	NC
6	DDC Clock	14	+5 V Power	22	T.M.D.S Clock shield
7	DDC Data	15	GND	23	T.M.D.S Clock+
8	NC	16	Hot Plug Detect	24	T.M.D.S Clock-

RGB IN端子の仕様



ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号
1	赤	9	+5 V
2	緑	10	GND
3	青	11	GND
4	—	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期
6	GND	14	垂直同期
7	GND	15	DDCクロック
8	GND	外面	GND

パソコン信号

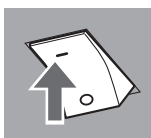
- アナログRGB 入力 のとき、次の場合は画面の一部が欠けたり、不要な画面が出る場合があります。その場合は、「SIZE SETTING」の「AUTO ADJUST」を使用するか、「SIZE」と「POSITION」を調節してください(13 ページ)。
 - 表以外の信号を入力した場合
 - 解像度は同じでも、水平周波数・垂直周波数が表と違う信号を入力した場合
 - パソコン画面の解像度設定と、実際に出力される信号の解像度が違う場合
- 入力可能な周波数範囲内の信号でも、プリセットされていない信号は正常に映らないことがあります。
- 接続機器によりG on sync 信号には対応しないことがあります。
- 初期設定に登録された信号を入力したときは、画面に信号フォーマットが表示されます。
- PIPおよびPBP(11 ページ)のサブ画面は、G on sync 信号に対応していません。

○:入力可 / —:入力不可

信号名	解像度		周波数		入力端子		備考
	水平	垂直	水平 (kHz)	垂直 (Hz)	RGB	DVI-D	
640*400@56Hz (VGA400/56)	640	400	24.823	56.42	○	—	
640*400@70Hz (VGA400/70)	640	400	31.475	70.10	○	—	
640*480@60Hz (VGA/60)	480	640	59.94	31.469	○	○	
640*480@72Hz (VGA/72)	640	480	37.861	72.81	○	—	
852*480@60Hz (WideVGA/60)	852	480	31.469	59.94	○	○	
800*600@60Hz (SVGA/60)	800	600	37.879	60.32	○	○	
1024*768@60Hz (XGA/60)	1024	768	48.363	60.00	○	○	
1024*768@70Hz (XGA/70)	1024	768	56.476	70.07	○	—	
1024*768@75Hz (XGA/75)	1024	768	60.023	75.03	○	—	
1024*768@85Hz (XGA/85)	1024	768	68.667	85.00	○	—	
1280*720@60Hz (WideXGA/60)	1280	720	44.820	60.00	○	○	メインメニューの「WIDE XGA」を「1280」に設定してください。(13 ページ)
1280*768@60Hz (WideXGA/60)	1280	768	47.760	60.00	○	○	
1360*768@60Hz (WideXGA/60)	1360	768	47.712	60.02	○	○	メインメニューの「WIDE XGA」を「1366」に設定してください。(13 ページ)
1366*768@60Hz (WideXGA/60)	1366	768	48.363	60.00	○	○	
1152*864@75Hz (XGA+/75)	1152	864	67.500	75.00	○	—	
1280*1024@60Hz (SXGA/60)	1280	1024	63.981	60.02	○	○	メインメニューの「SXGA/SXGA+」を「SXGA」に設定してください。(13 ページ)
1400*1050@60Hz (SXGA+/60-A)	1400	1050	63.981	60.02	○	○	メインメニューの「SXGA/SXGA+」を「SXGA+」に設定してください。(13 ページ)
1400*1050@60Hz (SXGA+/60-B)	1400	1050	65.220	60.00	○	○	
1600*1200@60Hz (UXGA/60)	1600	1200	75.000	60.00	○	○	

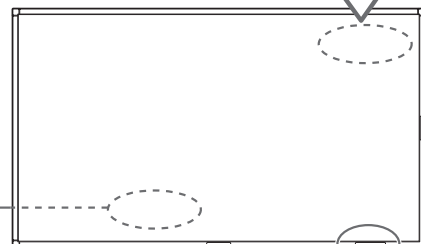
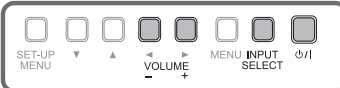
主電源を入れる

- | : 主電源を入れる
- : 主電源を切る

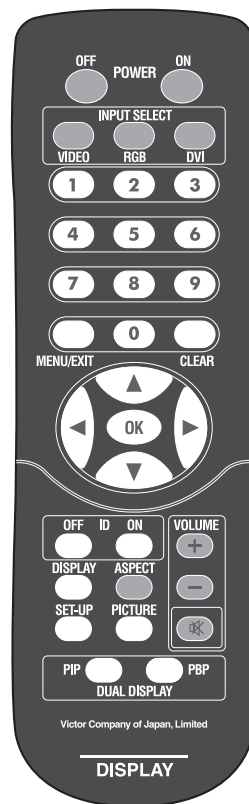


本体背面下部

本体背面上部
(※ 5ページ)



リモコン受光部



モニターをオンにする



- ・オフ(スタンバイ)にするときは、POWER OFFボタンを押します。

本体のボタンを使うとき:



- ・押すごとにモニターがオン/オフします。

○/I

入力を選ぶ



本体のボタンを使うとき:



- ・押すごとに入力が切り換わります。

INPUT SELECT

音量を調節する



本体のボタンを使うとき:



リモコンのみ

急いで音を消すとき:

もう一度押すと元の音量に戻ります。

- ・メインメニューから操作できます。(※ 13ページ「AUDIO SETTING」)

- ・コントロールロックが設定されているときは、本体のボタンで操作できません。(※ 16ページ)
- ・セキュリティロックが設定されているときは、モニターをオンにしたときにセットアップメニューのパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。(※ 17ページ)

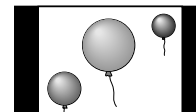
ASPECT 画面サイズを切り換える



押すごとに画面サイズが切り換わります。映像にあったアスペクト(画面の縦横比)を選んでください。

REGULAR(レギュラー)

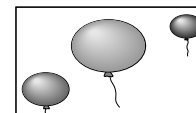
通常のアスペクト(4:3)の映像です。



FULL(フル)

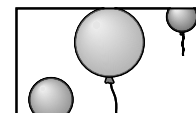
4:3の映像を全体的に横に拡大します。

- ・16:9の映像のときは、そのままのアスペクトです。



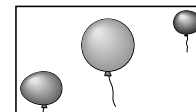
ZOOM(ズーム)

4:3の映像を縦、横同じ比率で拡大します。



PANORAMIC(パノラミック)

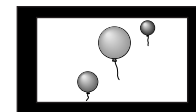
4:3の映像を不自然に見えないように拡大します。



REAL DOT(リアルドット)

入力映像を、拡大せずにそのまま画面の中央に表示します。

- ・UXGA(1600×1200)入力時は、はたらかません。



お知らせ

- ・入力信号によっては画面サイズは固定され、他の画面サイズに切り換えられないときがあります。
- ・マルチディスプレイ(※ 14ページ)を使用しているときは、画面サイズは「FULL」に固定され、切り換えられません。
- ・2画面表示(※ 11ページ)を使用しているときは、「REGULAR」以外の画面サイズは「FULL」に固定され、切り換えられません。2画面表示をオフにした後も、画面サイズは「FULL」のままです。
- ・本体のボタンを使って画面サイズを切り換えるときは、メインメニューの「SIZE SETTING」で操作します。(※ 13ページ)

DISPLAY ステータスを表示する



現在選んでいる入力の情報を確認できます。

選ばれている入力 — DVI
入力信号フォーマット — 1400 x 1050A 60Hz

お知らせ

- 信号の入力がないときは「NO SYNC」と表示されます。入力信号が本機で対応していないときは「Out of range」と表示されます。
- セットアップメニューの「STATUS DISPLAY」を「AUTO」に設定すると、次の場合にもステータスを表示します。(※15ページ)
 - モニターをオンにしたとき
 - 入力を切り換えたとき
 - 入力信号の種類が変わったとき

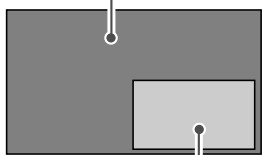
PIP PBP 2画面表示にする

DUAL DISPLAY

2つの入力を同時に見ることができます(2画面表示)。

PIPモード

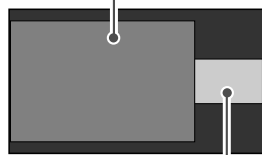
メイン画面



サブ画面

PBPモード

メイン画面



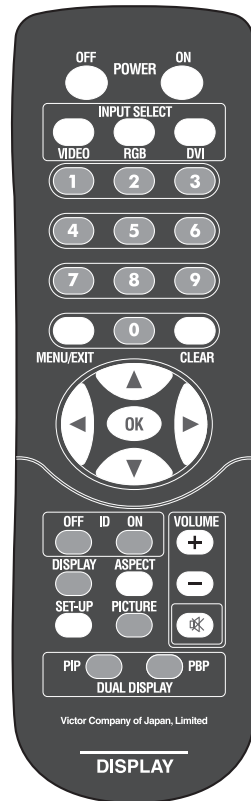
サブ画面

- ボタンを押すごとに2画面表示がオン/オフします。
- 2画面表示をオンにしたときに選んでいた入力が、メイン画面に表示されます。サブ画面^注の入力は、「FUNCTION SETTING」の「DUAL DISPLAY」で選びます。(※14ページ)
- 音声は、メイン画面の入力に割り当てられた音声出力されます。
- 2画面表示をオフにするときは、もう一度同じボタンを押します。

^注 サブ画面には、メイン画面と同じ入力およびDVI入力は選べません。

お知らせ

- サブ画面の表示位置と大きさはメインメニューで調節できます。(※「DUAL DISPLAY」14ページ)
- 480/60iおよび576/50iの信号は、2画面表示のサブ画面には表示できません。
- 2画面表示のときは、信号のフォーマットによってはオリジナルとは異なるアスペクトで表示されます。



OFF ID ON IDを割り付けたモニターを操作する

複数のモニターを使用しているとき、指定したIDのモニターだけをリモコンで操作することができます。

• IDの割り当ては、セットアップメニューで行います。(※15ページ)

操作したいモニターのIDを選ぶには

1 ID ONボタンを押す

各モニターに、それぞれのIDが表示されます。

ID : 01

2 数字ボタンを押して、操作したいモニターのIDを入力する

3 OKを押す

リモコンの操作が、指定したIDのモニターのみに働きます。

IDを指定しての操作をキャンセルするには

ID OFFボタンを押します。

別のIDのモニターを操作するには

ID OFFボタンを押してから、上の手順で操作したいモニターのIDを指定します。

PICTURE 画質を選ぶ



押すごとに、画質が切り換わります。

DYNAMIC: プレゼン資料などの映像に適しています。

NORMAL: 元の映像をそのまま表示します。

USER: お好みに合わせて映像を調節できます。

(※「PICTURE SETTING」13ページ)

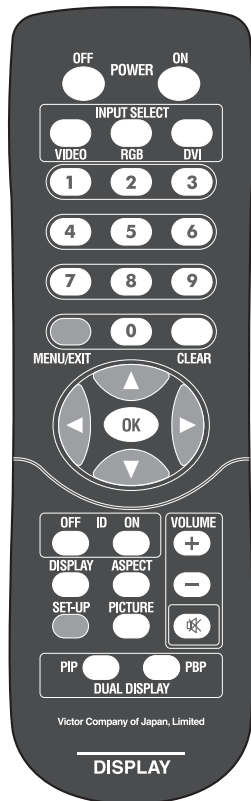
お知らせ

- 画質は、入力ごとに記憶されます。
- 画面の明るさなどは画質ごとに調節できます。調節した内容は記憶されます。(※「PICTURE SETTING」13ページ)
- マルチディスプレイ(※14ページ)の使用中や2画面表示中は、画質を切り換えることはできません。

メインメニューとセットアップメニューで、本機の様々な設定を行います。

- ・メインメニューの構成については、13ページをご覧ください。
- ・セットアップメニューの構成については、15ページをご覧ください。
- ・選んでいる入力や信号フォーマットで使用できない項目は、メニューで選べません。
- ・メインメニューとセットアップメニューは、30秒間何も操作しないと自動的に消えます。

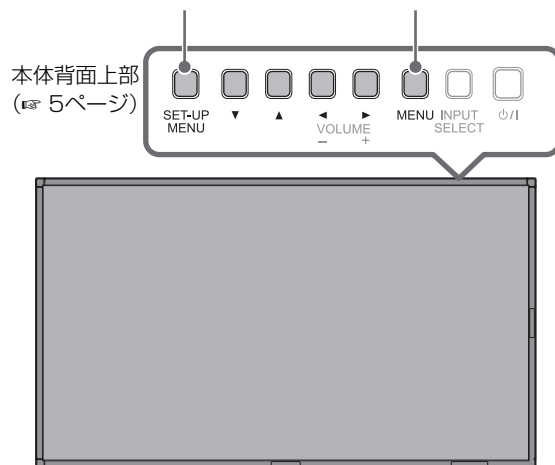
リモコン



モニター

リモコンのSET-UPボタンと同じ動きをします。

リモコンのMENU/EXITボタンと同じ動きをします。

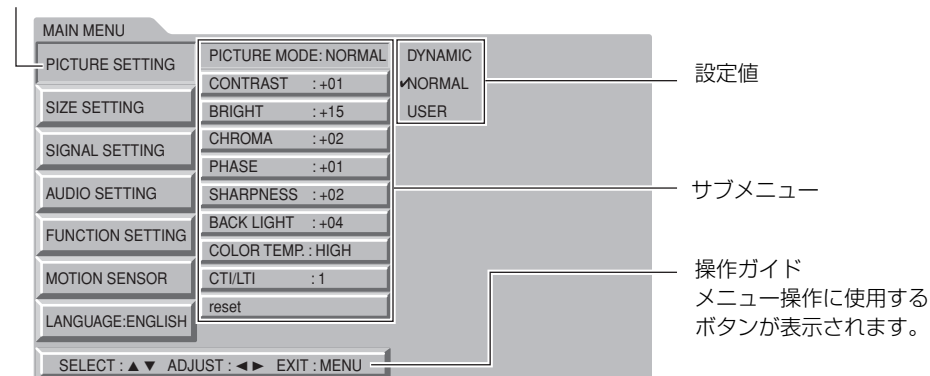


1 メニューを表示する

メインメニューを表示するときは、MENU/EXITボタンを押します。
セットアップメニューを表示するときは、SET-UPボタンを押します。

2 ▲ ▼で項目を選び、▶を押す

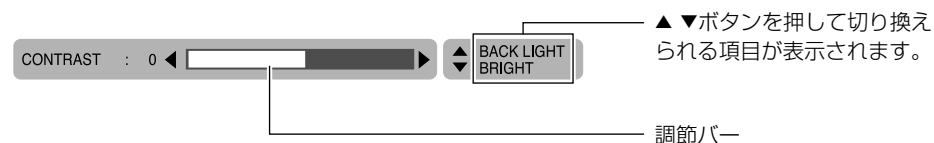
例：メインメニューの「PICTURE SETTING」を選んだとき
選んでいるメニュー項目



3 ▲ ▼ボタンでサブメニュー項目を選び、◀ ▶ボタンで調節する

画面の下部に次の画面が表示されたときは、

◀ ▶ボタンを押して調節します。▲ ▼ボタンを押して、調節する項目を切り換えることができます。



次のメッセージが表示されたときは、

▶ボタンを押して、操作を実行します。実行しないときは、▲ ▼ボタンを押します。

Are You sure?
"YES" then ▶ key.
"NO" then ▲, ▼, key.

- ・ MENU/EXITボタンを押すと、前の画面に戻ります。

4 MENU/EXITボタンをくり返し押して、メニュー操作を終了する

メインメニューの設定

PICTURE SETTING

項目名	内容	設定値
PICTURE MODE	お好みの画質を選びます。(☞「画質を選ぶ」11ページ)。	DYNAMIC、NORMAL、USER
CONTRAST	映像のコントラストを調節します。	-20 ↔ 00 ↔ +20
BRIGHT	映像の明るさを調節します。	-20 ↔ 00 ↔ +20
CHROMA	映像の色の濃さを調節します。	-20 ↔ 00 ↔ +20
PHASE	映像の色あいを調節します。	-20 ↔ 00 ↔ +20
SHARPNESS	映像の輪郭を調節します。	-20 ↔ 00 ↔ +20
BACK LIGHT	バックライトの明るさを調節します。	-20 ↔ 00 ↔ +20
COLOR TEMP.	色温度を選びます。	HIGH、MID、LOW、USER
CTI/LTI	VIDEO入力の映像をくっきりした映像にします。	OFF、1(くっきり)、2(よりくっきり)
reset	「PICTURE SETTING」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。) ・「PICTURE MODE」の設定は、リセットされません。	

- ・画質は入力ごとに記憶されます。また、選んだ画質ごとに「PICTURE SETTING」の他の項目を調節できます。調節した内容は記憶されます。
- ・RGB、白黒(50Hz/60Hz)の入力時は、「CHROMA」は調節できません。
- ・RGB、PAL、SECAM、白黒(50Hz/60Hz)の入力時は、「PHASE」は調節できません。
- ・色温度の詳細な設定は、セットアップメニューで行います。(☞「COLOR TEMP.」15ページ)

SIZE SETTING

項目名	内容	設定値
AUTO ADJUST	アナログRGB信号の映像を自動で調節します。アナログRGB信号を入力した場合、画面の位置がずれているときに行なってください。	
H SIZE	映像の水平方向の大きさを調節します。	設定範囲は自動で変更されます。
H POSITION	映像の水平方向の位置を調節します。	
V SIZE	映像の垂直方向の大きさを調節します。	
V POSITION	映像の垂直方向の位置を調節します。	設定範囲は自動で変更されます。
DOT CLOCK	パソコンのアナログRGB入力時の画面のちらつきや縞模様を、CLOCK PHASEとあわせて調節します。	
CLOCK PHASE	パソコンのアナログRGB入力時の画面のちらつきや縞模様を、DOT CLOCKとあわせて調節します。	-40 ↔ 00 ↔ +40
ASPECT	画面サイズを選びます。(☞「画面サイズを切り換える」10ページ)	REGULAR、FULL、ZOOM、PANORAMIC、REAL DOT
reset	「SIZE SETTING」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

- ・「SIZE」または「POSITION」を変えた瞬間に映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
- ・画面の「SIZE」と「POSITION」は、一方の設定値が大きいと、他方の設定値が制限されることがあります。
- ・パソコンのDVI入力時は、「DOT CLOCK」と「CLOCK PHASE」は自動で調節されます。
- ・「AUTO ADJUST」を使用する場合、画像の周辺に黒い部分があるとうまく調節できないことがあります。

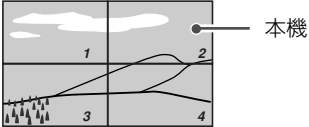
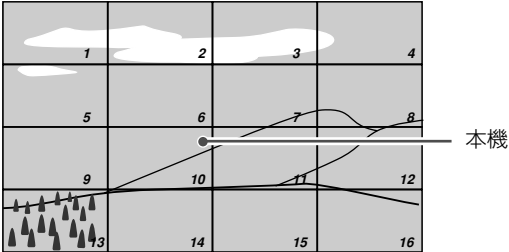
SIGNAL SETTING

項目名	内容	設定値
DVI MODE	「AUTO」に設定すると、DVI-D(HDCP)端子に入力されている信号形式を自動判別します。(通常は「AUTO」に設定します。) ・「AUTO」で映像が正しく映らない場合は、「VIDEO」または「PC」のいずれかに設定してください。	AUTO、VIDEO、PC
STD/WIDE	アナログRGB入力でVGA60またはXGA60信号を入力するときは「STD」を、WVGA60またはWXGA60信号を入力するときは「WIDE」を選びます。それ以外の信号のときはどちらに設定していても影響ありません。	STD、WIDE
WIDE XGA	アナログWIDE XGA信号のフォーマットを選びます。(1366×768、または1360×768のときは、「1366」を選びます。)	1366、1280
SXGA/SXGA+	アナログRGB入力でSXGA60信号を入力するときは「SXGA」を、SXGA+60またはSXGA+60*信号を入力するときは「SXGA+」を選びます。それ以外の信号のときはどちらに設定していても影響ありません。	SXGA、SXGA+
I/P MODE	入力映像に応じてスキャンモードを選びます。	MODE1、MODE2、MODE3
reset	「SIGNAL SETTING」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

AUDIO SETTING

項目名	内容	設定値
SPEAKER SELECT	使用するスピーカーを選びます。	INT.(内蔵)、EXT.(外部)
AUDIO ASSIGN	映像入力に対応する音声入力(AUDIO1端子またはAUDIO2端子)を選びます。	AUDIO1、AUDIO2、OFF(音声なし)
	VIDEO	
	RGB	
	DVI	入力DVIのときの音声入力を選びます。
MUTING	消音します。	ON、OFF
reset	「AUDIO SETTING」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

FUNCTION SETTING

項目名	内容	設定値
COLOR SYSTEM	カラー方式を選びます。「AUTO」で不安定なときには入力信号に合わせて選びます。	AUTO、NTSC、PAL、SECAM、PAL M、PAL N
MULTI DISPLAY	複数のモニターを同時に使用するときの設定をします(マルチディスプレイ)。(※「マルチディスプレイの設定例」下記)	
MULTI SIZE	マルチディスプレイをオン/オフします。使用するモニターの数と配置(水平*垂直)を選びます。 マルチディスプレイの設定例 例: MULTI SIZE: 2*2、MULTI POSI.: 2のとき  例: MULTI SIZE: 4*4、MULTI POSI.: 10のとき 	OFF 2*2 3*3 4*4 5*5 1*2 1*3 1*4 1*5 2*1 3*1 4*1 5*1
MULTI POSI.	マルチディスプレイ使用時の本機の位置を設定します。	1 ↔ 25
SEAMLESS	本機の枠部分に映像の一部を隠し、モニターの境界部分の映像のつながりをなめらかにします。	ON、OFF
reset	「MULTI DISPLAY」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	

項目名	内容	設定値
DUAL DISPLAY	2画面表示の設定をします。(※「2画面表示にする」11ページ)	
MODE	2画面表示のモードを選びます。	OFF、PIP、PBP
MAIN WINDOW	メイン画面の入力を表示します。	VIDEO、RGB、DVI
SUB. WINDOW	サブ画面の入力を表示します。	VIDEO、RGB
SIZE	サブ画面の大きさを選びます。(PIPモードのときのみ)	SMALL-2、SMALL-1、LARGE-1、LARGE-2
H POSITION/V POSITION	サブ画面の水平/垂直位置を調節します。(PIPモードのときのみ)	-20 ↔ 00 ↔ +20
SPLIT LINE	メイン画面とサブ画面の境界の位置を選びます。(PBPモードのときのみ)	1 ↔ 5
reset	「DUAL DISPLAY」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	
ECO SENSOR	部屋の明るさにあわせて、画面の明るさを自動で調節します。	ON、OFF
reset	「FUNCTION SETTING」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

- マルチディスプレイと2画面表示を同時に使用することはできません。
- 2画面表示のメイン画面とサブ画面に同じ入力を選ぶことはできません。

MOTION SENSOR

人感センサー(付属)が人の動きを感知したときのモニターの動作を設定します。

- 人感センサーとその設定について、詳しくは18ページをご覧ください。

LANGUAGE

メインメニュー、セットアップメニュー、モニターに表示されるメッセージの言語を選びます。

設定値: ENGLISH, DEUTSCH, FRANÇAIS, ESPAÑOL, ITALIANO, РУССКИЙ

セットアップメニューの設定

COLOR TEMP.

項目名	内容	設定値
COLOR TEMP.	色温度を表示します。	
R DRIVE、G DRIVE、B DRIVE	赤(R)、緑(G)、青(B)のドライブレベルを調節します。	MIN ↔ 000 ↔ MAX (256段階)
R CUT OFF、G CUT OFF、B CUT OFF	赤(R)、緑(G)、青(B)のカットオフ点を調節します。	MIN ↔ 000 ↔ MAX (256段階)
reset	「COLOR TEMP.」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

- ・メインメニューで色温度(HIGH、MID、LOW、USER)を選んでから調節します。(「PICTURE SETTING」13ページ)

SYNC FUNCTION

項目名	内容	設定値
NO SYNC ACTION	入力信号がないときの画面の色(または省電力モード)を設定します。	OFF、GRAY BACK (灰色画面)、POWER SAVE (省電力)、RED、GREEN、BLUE
DELAY TIME	入力信号がなくなってから「NO SYNC ACTION」で設定した表示(または省電力モード)に切り換わるまでの時間を設定します。	30sec.、5min.、15min.
reset	「SYNC FUNCTION」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

- ・2画面表示をオンにしているときは、「SYNC FUNCTION」はメイン画面にのみ働きます。

REMOTE SYSTEM

項目名	内容	設定値
ID	モニターにIDを割り当てます。	01 ↔ 25
REMOTE IN SEL.	外部制御信号入力端子を選びます。	D-sub9(RS-232C端子)、RJ-45(RS-485 IN/OUT端子)、LAN (LAN端子)
CNT. RJ45 OUT	RS-485 OUT端子の制御方式を選びます。	RS485、IR OUT
CNT. RJ45 IN	RS-485 IN端子の制御方式を選びます。	RS485、MAKE、TRIG.、SET
PORT F1～PORT F5	「CNT. RJ45 IN」を「SET」に設定したとき、RS-485 IN端子のピン番号1～5のピンの制御機能を設定します。	――(機能なし)、VIDEO、RGB、DVI、POWER、ASPECT、MUTING、PIP、PBP
reset	「REMOTE SYSTEM」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

- ・外部制御について、詳しくは20～25ページをご覧ください。

INFORMATION

項目名	内容	設定値
STATUS DISPLAY	現在選んでいる入力の情報の表示／非表示を設定します。(「STATUS」11ページ)	AUTO、OFF
SUB HOUR METER	毎回の使用時間を表示します(単位:時間)。▶を押して、この項目のみをリセットすることができます。	
reset	「STATUS DISPLAY」と「SUB HOUR METER」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	
MODEL	本機の型名とバージョンを表示します。本機の保守の際に確認します。	
VERSION		
HOUR METER	合計使用時間を表示します。本機の保守の際に確認します(単位:時間)。この項目はリセットできません。	

SECURITY LOCK

項目名	内容	設定値
SECURITY LOCK	セキュリティロック機能を設定します。	ON、OFF
PASS ID SETTING	パスワードを設定します。	4桁の数字

- ・詳しくは、「セキュリティロックを設定する」(17ページ)をご覧ください。

セットアップメニューの設定(つづき)

SCHEDULER

項目名	内容	設定値
PRESENT TIME	現在の時刻を設定します。設定方法は17ページをご覧ください。	
PROGRAM SET		
SUNDAY	モニターをオン/オフするタイマーを設定します。設定方法は17ページをご覧ください。	
MONDAY		
TUESDAY		
WEDNESDAY		
THURSDAY		
FRIDAY		
SATURDAY		
reset	「SCHEDULER」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

NETWORK SETTING

項目名	内容	設定値
MAC ADDRESS	本機のMACアドレスを表示します。	
IP ADDRESS	本機をネットワークに接続して操作するときの設定をします。詳しくは、23ページをご覧ください。	
SUBNET MASK		
DEFAULT GATEWAY		
DNS SERVER		
reset	「NETWORK SETTING」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

CONTROL LOCK

コントロールロックをオン/オフします。コントロールロックがオンのときは、本体のボタンを使った操作はできません。

設定値: OFF、ON

- コントロールロックがオンのときも、リモコンや外部制御での操作はできます。コントロールロックを解除するときは、リモコンまたは本体のSET-UP MENUボタンを押して操作してください。

REFRESH

項目名	内容	設定値
PIXEL SHIFT	画面の焼き付きを防ぐため、一定の時間で映像を移動させます。	OFF、ON
COLOR REVERSE	画面の焼き付きを防ぐため、映像の色(R、G、B)を反転させます。	OFF、ON
reset	「REFRESH」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

POWER ON DELAY

リモコンのPOWER ONボタンまたは本体の P ボタンを押してから本機がオンになるまでの時間を選びます。複数のモニターを使用しているときに異なった値を設定すると、突入電流を抑えられます。

設定値: 0~25

- 「25」に設定した場合、約5秒の遅れになります。

SYNC TERM.

RGB IN端子の同期信号の終端抵抗値を設定します。通常は「HIGH」に設定します。接続ケーブルが長いなどの理由で画面にちらつきがみられるときは「LOW」にします。

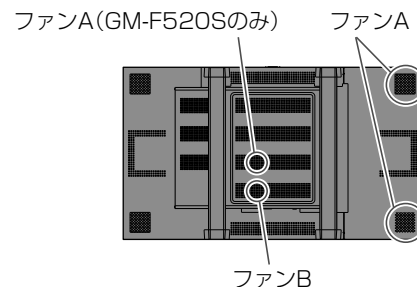
設定値: HIGH、LOW

COOLING MODE

内蔵ファンの回転数を設定します。本機を縦型で使用するときは「HIGH」に設定します。(通常は「LOW」に設定します。)

設定値: LOW、HIGH

- 「LOW」に設定すると、内蔵ファンAが止まります。
- ファンBは、電源がオンのときは常に回転しています。



reset

セットアップメニューで設定したすべての項目をお買い上げ時の状態に戻します。

all reset

メインメニューやセットアップメニューで設定したすべての項目をお買い上げ時の状態に戻します(「LANGUAGE」、「HOUR METER」、「SECURITY LOCK」、「PASS ID SETTING」を除く)。

セキュリティロックを設定する

セキュリティロックをオンにしていると、本機の電源を入れるときにセットアップメニューのパスワード入力画面が表示されます。

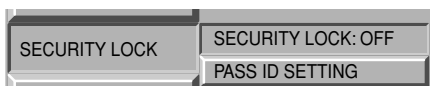
- ・正しいパスワードを入力しないと、パスワードの入力とモニターをオフ(スタンバイ)にする以外の操作はできません。

パスワードを入力するには

- ・数字を入力する: 数字ボタンを押す
- ・前後のケタに移動する: ◀/▶を押す
- ・入力した数字を取り消す: CLEARボタンを押す
- ・入力を確定する: OKボタンを押す

セキュリティロックをオンにする

- 1 セットアップメニューのSECURITY LOCKサブメニューを表示して、「SECURITY LOCK(:OFF)」を選ぶ



2 ▶を押す

パスワード入力画面が表示されます。

- ・お買い上げ時は、パスワードは「0000」に設定されています。パスワードは任意の4桁の数字に変更することができます。



3 パスワードを入力する

設定が「ON」になります。

- ・セキュリティロックがオンのときでも、モニターをオンにするタイマー(右記)が「ON」のときは、設定した時刻に電源が入ります。このとき、パスワードの入力は必要ありません。

パスワードは忘れないように、メモなどをとってください。

万一パスワードを忘れた場合は、別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

セキュリティロックをオフにする

- 1 セットアップメニューのSECURITY LOCKサブメニューを表示して、「SECURITY LOCK(:ON)」を選ぶ

2 ▶を押す

パスワード入力画面が表示されます。

3 パスワードを入力する

設定が「OFF」になります。

パスワードを変更する

- 1 セットアップメニューのSECURITY LOCKサブメニューを表示して、「PASS ID SETTING」を選ぶ

2 ▶を押す

パスワード入力画面が表示されます。

3 現在のパスワードを入力する

パスワード設定画面が表示されます。

4 新しいパスワードを入力する

5 OKを押す

カーソルが2行目に移動します。

6 確認のため、もう一度新しいパスワードを入力して、OKを押す

- ・手順4で入力したパスワードと手順6で入力したパスワードが違うときは、「PASS ID NG!」と表示され、SECURITY LOCKサブメニューに戻ります。もう一度手順2から設定してください。

設定を終了するには

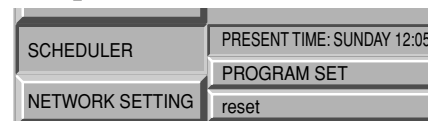
MENU/EXITボタンをくり返し押して、メニュー操作を終了します。

タイマーを使う

時刻を設定する

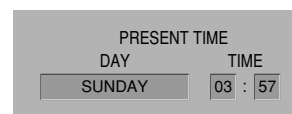
タイマーを設定する前に、時刻を設定します。

- 1 セットアップメニューのSCHEDULERサブメニューを表示して、「PRESENT TIME」を選ぶ



2 ▶を押す

時刻設定画面が表示されます。



- 3 ◀/▶を押して、調節する項目(曜日、時、分)を選ぶ

- 4 ▲▼を押して、調節する

設定を終了するには

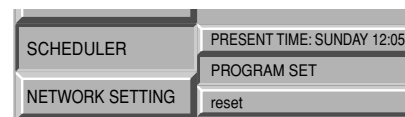
MENU/EXITボタンをくり返し押して、メニュー操作を終了します。

タイマーを設定する

曜日ごとに、本機をオン/オフするタイマーを設定できます。

- ・タイマーを設定する前に、時刻を設定してください。

- 1 セットアップメニューのSCHEDULERサブメニューを表示して、「PROGRAM SET」を選ぶ



2 ▶を押す

曜日

タイマーの有効(✓)/無効(空欄)

DAY	CHECK	PROGRAM SET		ON TIME	OFF TIME
SUNDAY	☐	ON	00 : 00	/	OFF 00 : 00
MONDAY	☐	ON	00 : 00	/	OFF 00 : 00
TUESDAY	☐	ON	00 : 00	/	OFF 00 : 00
WEDNESDAY	☐	ON	00 : 00	/	OFF 00 : 00
THURSDAY	☐	ON	00 : 00	/	OFF 00 : 00
FRIDAY	☐	ON	00 : 00	/	OFF 00 : 00
SATURDAY	☐	ON	00 : 00	/	OFF 00 : 00

電源オンにする時刻 電源オフにする時刻

- 3 ▲▼を押して、曜日を選び、▶を押す

- 4 ▲▼を押して、タイマーの有効/無効を設定する

5 ▶を押す

- 6 ▲▼を押して、電源オンにする時刻(時)を設定する

- 7 手順5、6をくり返して、電源オンにする時刻(分)と、電源オフにする時刻(時、分)を設定する

- ・他の曜日のタイマーを設定するには、MENU/EXITボタンを押して、カーソルを曜日に移動してから手順3～7を行います。

設定を終了するには

MENU/EXITボタンをくり返し押して、メニュー操作を終了します。

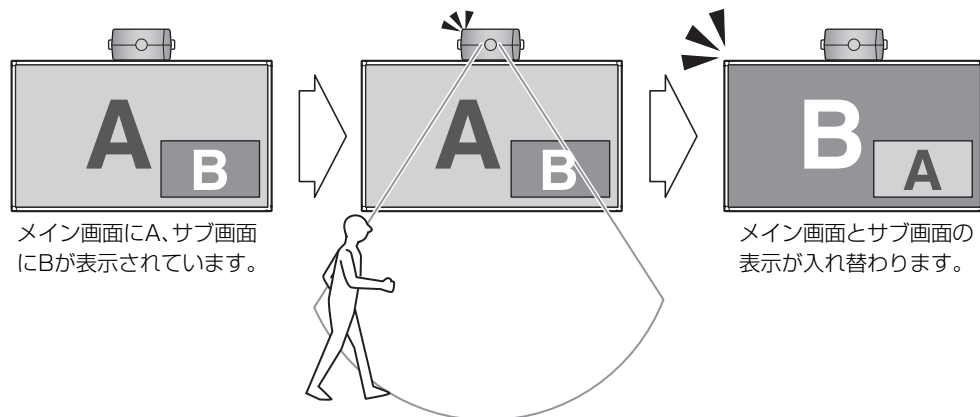
人感センサーの概要

本機には、人の動きを検知するセンサー(人感センサー)が付属しています。センサーを本機に接続すると、本機の周囲の人の動きを検知したときに、設定した機能を働かせることができます。人の動きを検知しなくなると、一定時間後にもとの状態に戻ります。センサーの検知方式は、焦電型赤外線検知式です。

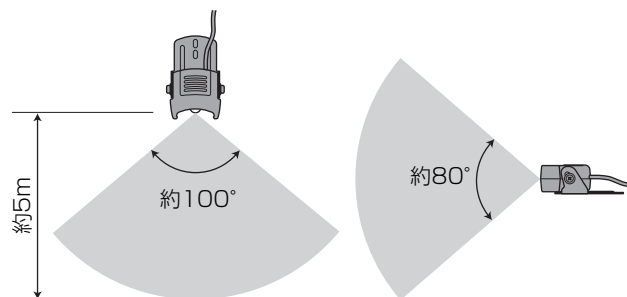
設定できる機能

- (1) 電源を入れる 人の動きを検知すると、本機がオンになります。
- (2) 音量を変更する 人の動きを検知すると、設定した音量に切り換わります。
- (3) 入力を切り換える 人の動きを検知すると、入力が切り換わります。
- (4) 2画面表示のメイン画面とサブ画面を入れ替える 2画面表示で使用しているときに人の動きを検知すると、メイン画面とサブ画面が入れ替わります。
- (5) バックライトの明るさを変更する 人の動きを検知すると、設定した明るさに切り換わります。

例: 上記の(4)の設定にしていると...



センサーの検知範囲



お知らせ

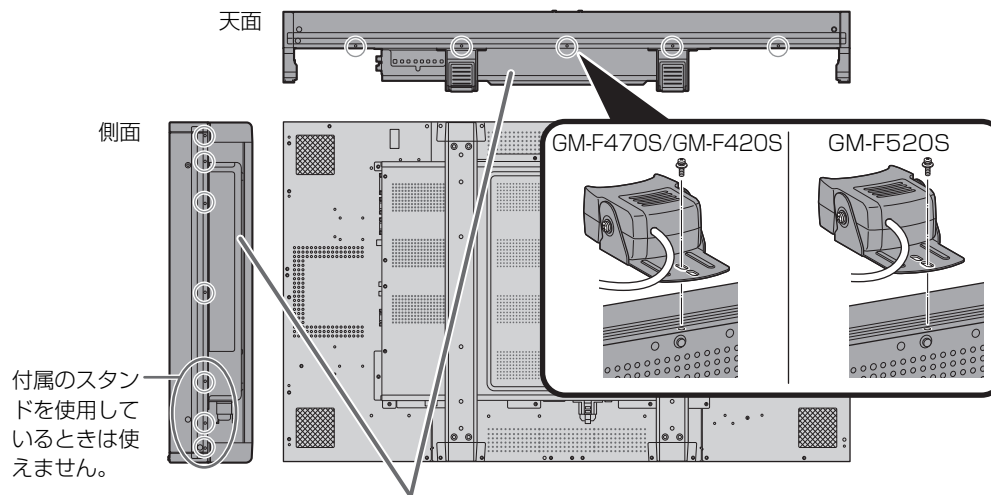
- 左図の範囲は目安です。実際は、気温や人体の大きさ、服の色、動く速さ、動く方向などによって、検知範囲は異なります。
- 左図の範囲内に人がいても、静止している場合は検知されません。
- センサーからの距離によっては、動きが検知されない場合があります。また、センサーの近くでは、小さな動きでも検知されやすくなります。
- センサー部を直接手で触れないでください。感度が低下する場合があります。
- センサーと人の間にガラスがあるときは、非常に検知しにくくなります。

取り付けと接続

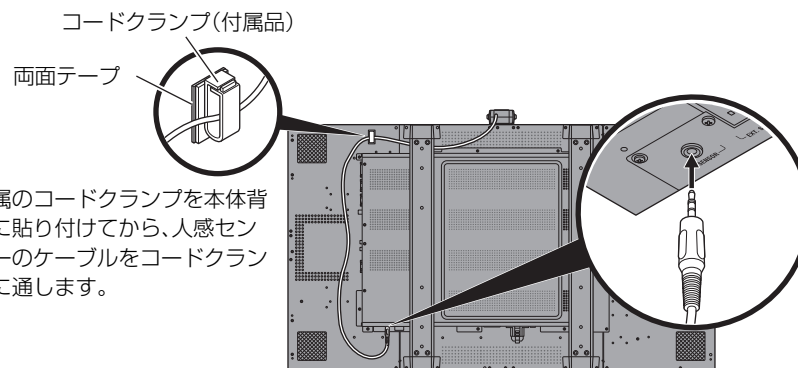
本機の天面に5カ所、底面に5カ所、左右側面に7カ所ずつ、合計24カ所のいずれかに取り付けることができます。設置場所に合わせて取り付けてください。人感センサーのケーブルの長さは約1.5 mです。

ご注意

- センサーを取り付けるときは、しっかり固定してください。落下して破損やけがの原因となることがあります。

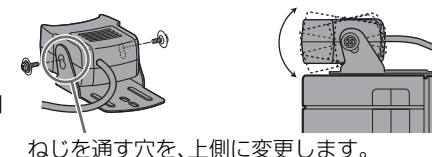


- 底面にも天面と同じ位置に取り付け穴があります。右側面にも左側面と同じ位置に取り付け穴があります。



センサーの角度

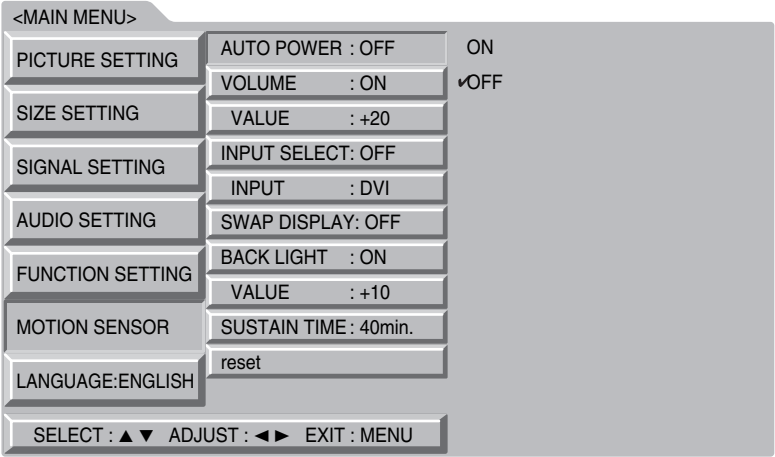
人感センサー本体の向きを上下に調節できます。センサー側面のねじを通す穴を変更してから、本体の向きを調節します。



人感センサーの設定

メインメニューの「MOTION SENSOR」で設定します。

- ・メニュー操作については、12ページをご覧ください。



項目名	内容	設定値
AUTO POWER	「ON」を選ぶと、人の動きを検知したときに本機がオンになります。人の動きを検知しなくなると一定時間が経過すると、オフになります	ON、OFF
VOLUME	「ON」を選ぶと、人の動きを検知したときに音量レベルが設定したレベルに変更されます。	ON、OFF
VALUE	音量を設定します。(「VOLUME」を「ON」にしたとき)	00↔30
INPUT SELECT	「ON」を選ぶと、人の動きを検知したときに設定した入力に切り換わります。	ON、OFF
INPUT	入力を選びます。(「INPUT SELECT」を「ON」にしたとき)	VIDEO、RGB、DVI
SWAP DISPLAY	「ON」を選ぶと、人の動きを検知したときに2画面表示のメイン画面とサブ画面が入れ替わります。(2画面表示をしているときに働きます。)	ON、OFF
BACK LIGHT	「ON」を選ぶと、人の動きを検知したときに、バックライトの明るさが設定した明るさに変更されます。	ON、OFF
VALUE	バックライトの明るさを設定します。(「BACK LIGHT」を「ON」にしたとき)	-20↔+20
SUSTAIN TIME	上記の機能が働く時間を設定します。	0 min.↔60 min.
reset	「MOTION SENSOR」の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(項目を選んでリセットすることはできません。)	

お知らせ

- ・「MOTION SENSOR」で「ON」に設定した機能が働いている間は、MAKE方式でのみ、その機能を操作できます。リモコンと本体のボタン、MAKE方式以外の外部制御では操作できません。
- ・最後に人の動きを検知してから「SUSTAIN TIME」で設定した時間が経過すると、本機の動作は人の動きを検知する前の状態に戻ります。「AUTO POWER」を「ON」にしているときは、本機の電源が「OFF」になります。
- ・「SUSTAIN TIME」で「0 min.」に設定したときは、1～数秒間人の動きを検知したときの動作を行います。センサーの動作確認、感知範囲の検出などにお使いいただけます。

「AUTO POWER」を「ON」にした状態で「SUSTAIN TIME」を「0 min.」に設定すると、本機が電源のオン／オフを繰り返し、メニューの操作ができなくなります。このようなときは、人感センサーの端子を本機から取り外し、メニューを表示させて、「AUTO POWER」を「OFF」に設定し直してください。

- ・「SUSTAIN TIME」を「0 min.」に設定して人感センサーの動作確認を行う場合は、「VOLUME」または「BACK LIGHT」のみを「ON」に設定しておくことをお勧めします。

RS-232C端子に接続した外部制御機器で本機を操作するとき、人感センサーが得た情報を使うことができます。

人感センサーが得た情報を外部制御機器で使いたいときは、「MOTION SENSOR」のすべての項目を「OFF」に設定してください。詳しくは販売店にお問い合わせください。

外部制御の概要

本機は3種類の外部制御端子を備えています。

- **RS-232C端子**: パソコンまたは専用コントローラーで本機を制御します。(☞「シリアル方式での外部制御」21ページ)
- **RS-485 IN/OUT端子**: 以下の4種類の外部制御方式から選べます。
 - (1) **シリアル方式**: パソコンまたは専用コントローラーで本機を制御します。(☞21ページ)
 - (2) **IR OUT方式**: 操作したい機器に付属のリモコンで、本機を通して他の機器を制御します。
 - (3) **MAKE(メイク接点方式)**: 制御するピン端子を短絡(GNDとショート)または、開放(端子オープン)することで機能を制御します。(☞22ページ)
 - (4) **TRIG.(トリガー方式)**: 制御するピン端子に瞬間的にパルス信号を入力することで機能を制御します。(☞22ページ)
- **LAN端子(10BASE-T対応)**: ネットワーク接続したパソコンから、Webブラウザを使って本機を制御します。(☞「LAN方式での外部制御」23ページ)

ご使用の外部制御端子と制御方式にあわせて、セットアップメニューの「REMOTE SYSTEM」の各項目を下の表のように設定してください。(☞15ページ)

外部制御方式		REMOTE IN SEL.の設定	CNT. RJ45 OUTの設定	CNT. RJ45 INの設定
シリアル方式	RS-485	RJ-45 ^{注1}	RS485	RS485
	RS-232C	D-sub9 ^{注1}	RS485	RS485
IR OUT		任意(設定は不要です)	IR OUT	任意(設定は不要です)
MAKE		RJ-45	RS485	MAKE
TRIG.		RJ-45	RS485	TRIG.
LAN ^{注2}		LAN	任意(設定は不要です)	任意(設定は不要です)

^{注1} 外部制御機器に接続したモニターは、接続した端子に合わせて設定します。2台め以降は「RJ-45」に設定します。

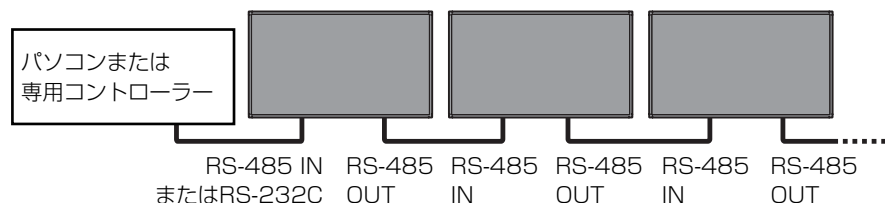
^{注2} セットアップメニューの「NETWORK SETTING」の設定も必要です。(☞16、23ページ)

お知らせ

- MAKE方式で外部制御を使用中の機能については、本体または本機のリモコンボタンは使用できません。
- コントロールロック(☞16ページ)がオンのときも、外部機器から制御できます。

<シリアル方式>

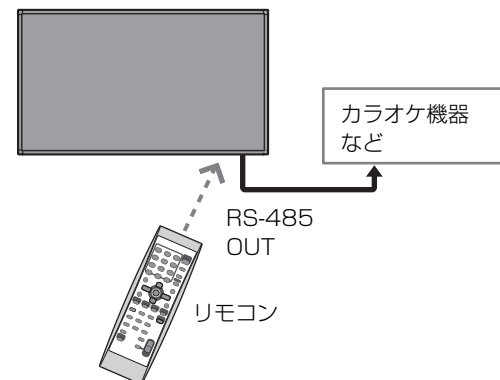
RS-485 IN/OUT端子で接続した複数のモニターを操作することができます。21ページもご覧ください。他のモニターの電源は、本機のAC OUT端子につなぐ事ができません。



<IR OUT方式>

外部機器のリモコン操作信号をRS-485 OUT端子から出力することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

- IR OUT方式とRS-485端子を使ったシリアル方式は、同時に使用することはできません。



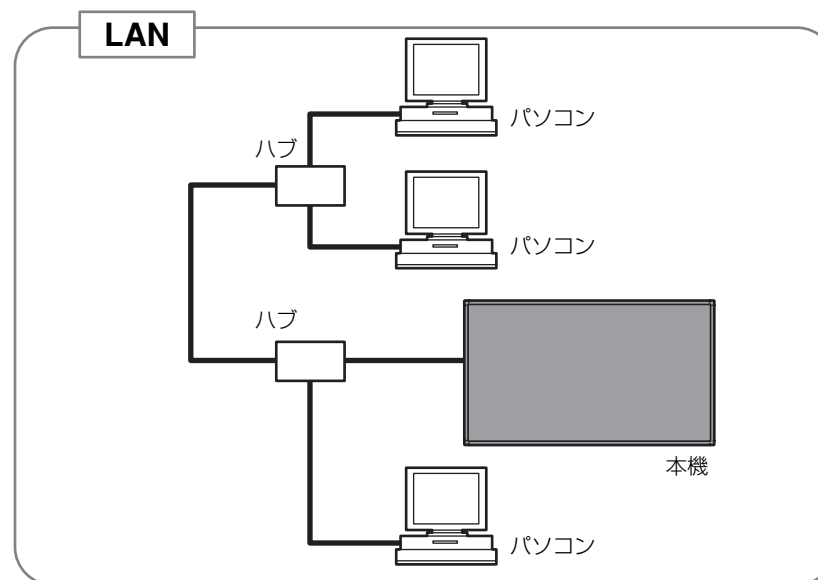
<MAKE/TRIG.方式>

パソコンまたはコントローラー^{注3}で本機を制御します。詳しくは22ページをご覧ください。

^{注3} 別途制作の必要があります。

<LAN方式>

ローカルエリアネットワーク(LAN)内のパソコンから、Webブラウザを使って本機を制御します。



シリアル方式での外部制御

RS-485端子またはRS-232C端子を使って、本機をパソコンまたは専用コントローラーから制御します。

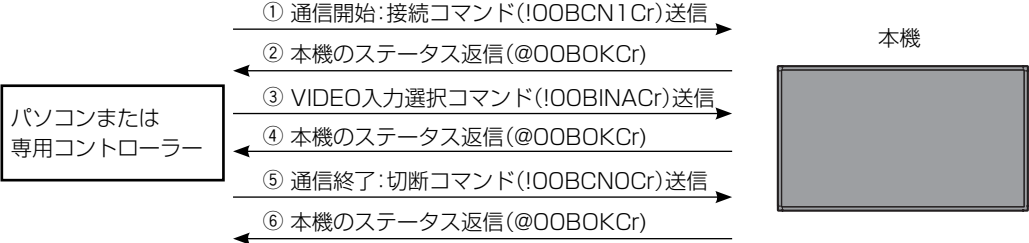
＜通信仕様＞

使用する端子	ケーブル	端子の仕様	通信仕様
RS-485端子	ストレートLANケーブル	下記	ボーレート：4800 bps データ長：8ビット パリティ：なし ストップビット：1ビット フロー制御：なし 通信コード：ASCIIコード
RS-232C端子	D-sub9ピン型コネクターのストレートケーブル(モニター側：オス、パソコン側：メス)		

＜コマンド概要＞

本機の初期起動時は、パソコンまたは専用コントローラーと通信可能な状態になっていません。通信開始時には接続コマンド、通信終了時には切断コマンドが必要です。

通信例



- ・「！」で始まるコマンドは、パソコンまたは専用コントローラーから本機への制御コマンドです。詳しくは、＜基本コマンド一覧＞をご覧ください。
- ・「@」で始まるコマンドは、本機からパソコンまたは専用コントローラーへの返信(正常ステータス発行)です。

＜RS-485端子の仕様＞

ピン番号	IN端子信号	OUT端子信号
1	TXD+	TXD+
2	TXD-	TXD-
3	RXD+	RXD+
4	NC	NC
5	NC	IR. OUT
6	RXD-	RXD-
7	5V電源	NC
8	GND	GND

- ・7番ピンの5V電源は専用コントローラー用電源です。他の機器には使用しないでください。

＜RS-232C端子の仕様＞

ピン番号	信号
1	—
2	RD (Receive Data)
3	TD (Transmit Data)
4	—
5	GND (Ground)
6	—
7	RTS
8	CTS
9	—

- ・7番ピンと8番ピンは接続されています。

＜基本コマンド一覧＞

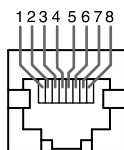
No.	コマンド名	機能	データ内容
1 ^注	! * * B C N 1 Cr	通信開始(接続)	なし
2 ^注	! * * B C N 0 Cr	通信終了(切断)	なし
3	! * * B I D S E T x x Cr	個別制御IDの割付	01～25
4	! * * B I D R E T Cr	個別制御IDの初期化	なし
5	! * * B I D D S P x x Cr	IDの表示/非表示	00:非表示、01:表示
6	! * * B I D C H K x x Cr	モニターのID No.の点滅表示/非表示	00:非表示、01:点滅表示
7	! * * B M E N U Cr	メインメニューの表示/メニュー操作の終了	なし
8	! * * B U P Cr	項目選択(▲)	なし
9	! * * B D O W N Cr	項目選択(▼)	なし
10	! * * B A D J R Cr	設定・調節(▶)	なし
11	! * * B A D J L Cr	設定・調節(◀)	なし
12	! * * B E N T E R Cr	セキュリティロックのパスワードの決定	なし
13	! * * B S E T U P Cr	セットアップメニュー表示	なし
14 ^注	! * * B P W 1 Cr	モニター電源オン	なし
15	! * * B P W 0 Cr	モニター電源オフ(スタンバイ)	なし
16	! * * B I N A Cr	VIDEO入力選択	なし
17	! * * B I N B Cr	RGB入力選択	なし
18	! * * B I N C Cr	DVI入力選択	なし
19	! * * B D I S P Cr	ステータス表示	なし
20	! * * B V P L S Cr	音量を上げる	なし
21	! * * B V M N S Cr	音量を下げる	なし
22	! * * B V O L x x Cr	音量調節	0～30
23	! * * B A M U T E x x Cr	消音オン/オフ	00:オフ、01:オン
24	! * * B A S P x x Cr	画面サイズ選択	00:REGULAR、01:FULL、02:ZOOM、03:PANORAMIC、04:REAL DOT
25	! * * B A S P T Cr	画面サイズ切り換え	なし
26	! * * B P I C M O D x x Cr	画質選択	00:DYNAMIC、01:NORMAL、02:USER
27	! * * B P I P x x Cr	PIPモードのオン/オフ	00:オフ、01:オン
28	! * * B P B P x x Cr	PBPモードのオン/オフ	00:オフ、01:オン

- ^注 これらのコマンドは、モニターの電源がオフ(スタンバイ)のときも通信できます。
- ・「*」は、本機のIDです。初期設定は「00」です。モニターを複数台接続しているときは、「00」は一括制御コマンドになります。
 - ・「xx」または「x」にはデータ内容を入力します。
 - ・「Cr」はODhです。

外部制御の使いかた(つづき)

MAKE/TRIG.方式での外部制御

RS-485 IN端子のピン配列と、各ピンの端子名は以下のようになっています。1番から5番までのピンの機能は、セットアップメニューの「REMOTE SYSTEM」で割り当てることができます。
(※15ページの「PORT F1～PORT F5」)



端子はメスです。

ピン番号	端子名
1	PORT F1
2	PORT F2
3	PORT F3
4	PORT F4
5	PORT F5
6	ENABLE
7	NC
8	GND

端子の機能を割り当てるには

メニューの操作方法については、12ページをご覧ください。

- 1 セットアップメニューを表示して、「REMOTE SYSTEM」を選ぶ
- 2 「CNT. RJ45 IN」を「SET」に設定する
- 3 「PORT F1」～「PORT F5」で割り当てたい端子名を選び、機能を割り当てる
 - ・ 割り当てられる機能については、下の表をご覧ください。

MAKE/TRIG.方式で制御可能な機能

表示	制御する機能	開放	短絡
VIDEO	VIDEO入力へ切り換え	無効	有効
RGB	RGB入力へ切り換え	無効	有効
DVI	DVI入力へ切り換え	無効	有効
POWER	電源のオン/オフ(スタンバイ)	オン	オフ(スタンバイ)
ASPECT	画面サイズ切り換え	REGULAR	FULL
MUTING	消音のオン/オフ	オフ	オン
PIP	PIPモードへ切り換え(※11ページ)	無効	有効
PBP	PBPモードへ切り換え(※11ページ)	無効	有効
---	機能なし	—	—

お知らせ

- ・ 2つのピンに、同じ機能を割り当てることはできません。
- ・ TRIG.(トリガー)方式の場合は、約1秒間短絡して開放する操作により設定が交互に切り換わります。

操作方法

- 1 外部制御(6番ピン)を8番ピンに短絡して外部制御を有効にする
- 2 セットアップメニューの「REMOTE SYSTEM」で「CNT. RJ45 IN」を「MAKE」または「TRIG.」に設定する
- 3 MAKE(メイク接点)方式の場合:
各機能のピンを8番ピンに短絡または開放して制御する
TRIG.(トリガー)方式の場合:
各機能のピンを約1秒間8番ピンに短絡して開放する操作(パルス制御)で制御する

お知らせ

- ・ 入力を切り換えるときは、現在有効になっているピンを無効にしてから、切り換えたいピンを有効にしてください。
- ・ PIPとPBPを切り換えるときは、現在有効になっているモードを無効にしてから、もう一方を有効にしてください。
- ・ TRIG.(トリガー)方式では、複数の端子を一度に操作しても動作しません。必ず一つずつ順番に操作してください。

LAN方式での外部制御

推奨動作環境	オペレーティングシステム(OS): Microsoft® Windows® XP/Windows® Vista Webブラウザ: Microsoft® Internet Explorer® ver. 6.0/7.0で動作確認しています。
ケーブル	ネットワークケーブル(CAT5等)

ネットワークに接続する

メニューの操作方法については、12ページをご覧ください。

お知らせ

- ・ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ・ 本機をネットワークに接続し、本機をオンにしてから約30秒たってから設定を始めてください。
- ・ 複数のパソコンから同時にログインすることはできません。
- ・ 約30分間なにも操作しないと、自動的にログアウトされます。
- ・ 本機のLAN機能は10BASE-Tに対応しています。

- 1 セットアップメニューの「NETWORK SETTING」を選ぶ
- 2 「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「DEFAULT GATEWAY」、「DNS SERVER」を設定する
- 1 ▲▼で項目を選び、▶で次の画面へ進む 4 MENUボタンで、入力を確定する
- 2 ▲▼または数字ボタンで、数字を入力する
- 3 ▶で、次の項目へ移動する

・ 初期設定に戻すには、「NETWORK SETTING」の「reset」を行います。

Webブラウザでの操作方法

本機、パソコン、ルーター(またはハブ)がネットワークケーブルで接続されていて、それぞれの電源が入っていることを確認してください。制御画面では、Java Scriptを使用していますので、有効にしてください。

- 1 Internet Explorer(ver. 6.0/7.0で動作確認しています)を起動する
- 2 アドレスバーに本機のIPアドレスを入力し、キーボードのEnterを押す

GM-F420/470/520 Series
Web Control

Enter Log In Name :

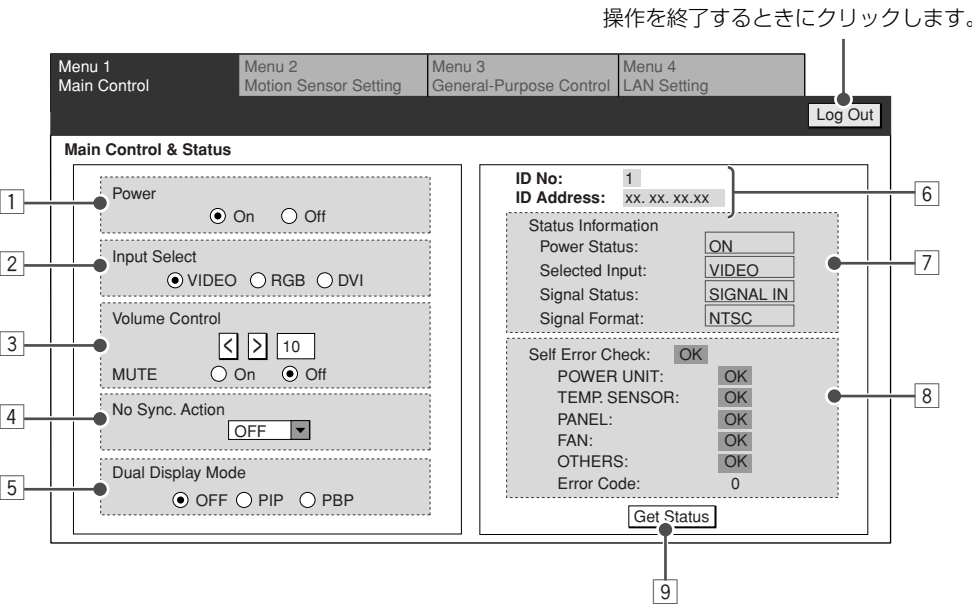
OK

- 3 「OK」をクリックする
 - ・ 工場出荷時は、ログイン名は設定されていません。ログイン名を設定するときは、25ページをご覧ください。
- 4 操作したい機能タブをクリックする
 - ・ 各機能タブについて、詳しくは右記及び24～25ページをご覧ください。

操作が終了したら、「Log Out」をクリックしてログアウトしてください。

<Main Control>

モニターのオン/オフ(スタンバイ)など、本機の基本的な操作を行います。ステータス表示も見るができます。



- 1 モニターをオン/オフ(スタンバイ)します。
- 2 入力を選びます。
- 3 音量の調節と消音のオン/オフをします。
- 4 入力信号がないときの本機の画面の状態を設定します。
- 5 2画面表示モードを選びます。
- 6 本機のIDとIPアドレスの表示
- 7 ステータスの表示
 - ・ 本機の電源のオン/オフ(スタンバイ)
 - ・ 選んでいる入力
 - ・ 入力信号の状態
 - ・ 入力信号の種類
- 8 自己診断結果の表示
電源ユニット、温度センサー、液晶パネル、ファンなどの状態を表示します。
- 9 6、7、8の表示を更新します。

<Motion Sensor Setting>

人感センサーが人の動きを感知したときの、本機の動作を設定します。

- ・人感センサーの設定について、詳しくは19ページをご覧ください。

操作を終了するときをクリックします。

- 1 モニターをオンにするときは「ON」を選びます。
- 2 音量レベルを変更するときは「ON」を選び、音量を設定します。
- 3 入力を切り換えるときは「ON」を選び、入力を選びます。
- 4 2画面表示のメイン画面とサブ画面を入れ替えるときは「ON」を選びます。
- 5 バックライトの明るさを変更するときは「ON」を選び、明るさを設定します。
- 6 センサーが最後に人の動きを感知してから、上記の項目で「ON」に設定した機能が働く時間[※]を設定します。
- 7 モニター側で設定を変更した場合、その設定を読み込みます。

[※] センサーが人の動きを感知するたびに、経過時間は0に戻ります。

<General-Purpose Control>

外部制御コマンドを本機に送信します。

- ・本機の状態によっては送信したコマンド通りに動かないことがありますので、必ず本機の動作を確認してください。

操作を終了するときをクリックします。

- 1 「FUNCTION」でメニュー項目を選び、「SELECTION」でその設定値を選びます。
例:画面サイズを「FULL」に設定するコマンドを送信するとき
FUNCTION
ASPECT (DIRECT)
SELECTION
FULL
- 2 ①で選択した設定のコマンドが表示されます。「Send」をクリックすると、本機にコマンドが送信されます。送信中は、「COMMAND STATUS」に「SENDING」と表示されます。
- 3 ステータスを表示します。
 - ・本機の電源のオン/オフ(スタンバイ)
 - ・選んでいる入力
 - ・入力信号の種類
 - ・画面サイズの設定
 - ・色温度の設定

<LAN Setting>

Web制御画面のログイン名や、本機のEメールの設定を行います。ネットワーク設定を見ることができます。

操作を終了するときをクリックします。

- ① ネットワークの設定が表示されます。
- ② ログイン名を設定します。確認のため、2回入力してください。
 - ・ 8文字まで入力できます。ログイン名の設定を確定するには、「OK」をクリックします。
- ③ 本機に異常が起きたときに、本機からエラー通知メールを送信するための設定をします。
 - ・ メールの設定については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。
 - ① 本機のメールアドレスを入力します。
 - ② エラー通知を受信するメールアドレスを入力します。
 - ・ アドレスは3つまで入力できます。また、各アドレスは48文字まで入力できます。
 - ③ SMTPサーバーのアドレスを入力します。(32文字まで入力できます。)
 - ④ 本機のメールアドレスを入力します。(32文字まで入力できます。)
 - ⑤ 本機のメールパスワードを入力します。(16文字まで入力できます。)メールの設定を確定するには、「OK」をクリックします。
現在の設定を読み込むには、「Get Status」をクリックします。
メールの設定を取り消すには、「All Clear」をクリックし、「OK」をクリックします。
- ④ 本機からのエラー通知を受け取るときに、チェックします。
 - ③-②で設定されたメールアドレスに、メールが送信されます。
- ⑤ クリックすると、テストメールが送信されます。
 - ・ ネットワーク環境やサーバーの認証条件等によってはメールを送信できない場合があります。
 - ・ ③-④と③-⑤は、SMTPサーバーへのアクセスに認証が要求される場合に必要です。詳しくはサーバーの管理者にお問い合わせください。
 - ・ POP before SMTP認証には対応していません。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼の前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源が入らない

- 電源プラグは正しく接続されていますか？ (P.6ページ)
- 主電源スイッチは入れましたか？ (P.10ページ)

映像が出ない

- 入力を正しく選んでいますか？ (P.10ページ)
- 接続機器を正しく接続していますか？ (P.6ページ)
- 接続機器から信号が出ていますか？
- 明るさは正しく調節されていますか？ (P.13ページ)

音が出ない

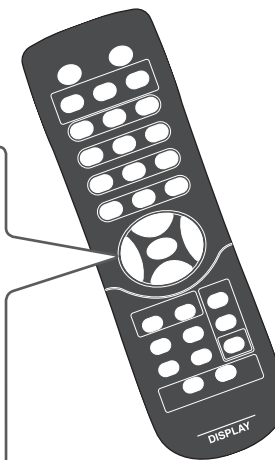
- 音量が最小になっていませんか？ (P.10ページ)
- 消音になっていませんか？ (P.10ページ)
- 「AUDIO ASSIGN」は正しく設定されていますか？ (P.13ページ)

自己診断ランプが点灯(点滅)している

- 27ページにしたがって確認してください。

リモコンで操作ができない

- 乾電池は正しい向きに入っていますか？ (P.5ページ)
- 乾電池が消耗していませんか？
- リモコンを本体に向けずに操作していませんか？
- リモコンと本体の間が障害物にさえぎられていますか？
- 距離が離れすぎていませんか？
- 人感センサーの機能が「ON」になっていませんか？



こんなときは

こうしてください

突然電源が入る／切れる	- 電源をオン/オフするタイマーがオンになっています。タイマーをオフにしてください。 - 人感センサーの「AUTO POWER」がオンになっています。オフにしてください。	17 19
映像がぼやける	「PICTURE SETTING」で「CONTRAST」または「BRIGHT」を調節してください。 - RGB入力の信号のときは、メインメニューの「SIZE SETTING」で「DOT CLOCK」と「CLOCK PHASE」を調節してください。 - RGB入力端子への接続ケーブルが長いときは、セットアップメニューの「SYNC TERM.」を「LOW」にしてください。	13 13 16
映像が異常に明るい・暗い	- メインメニューの「PICTURE SETTING」で画質を調節してください。 - 画面に「TEMP. OVER」が表示されているときは、自己診断表示にしたがって確認してください。	13 27
色がおかしい/色がつかない	メインメニューの「COLOR SYSTEM」でカラー方式を選んでください。	14
映像が切れる・片寄っている	- 接続機器の信号(走査周波数など)が入力可能な信号であるかを確認し、対応した信号を入力してください。 - メインメニューの「SIZE SETTING」で、画面の位置や大きさを正しく調節してください。	8 13
メニューで選べない項目がある	選んでいる入力や信号フォーマットで使用できない項目は、メニューで選べません。入力や信号フォーマットを切り換えてください。	—
電源を入ると「ENTER PASS ID」と表示される	セキュリティロックが設定されています。パスワードを入力して、セキュリティロックを解除してください。	15、 17

本体で操作できない

コントロールロックがオンになっているときは、オフにしてください。	16
外部制御で制御している機能は、本体のボタンでは操作できません。外部制御を無効にしてください。	—
人感センサーで制御している機能は、本体のボタンでは操作できません。人感センサーの制御を無効にしてください。	19

人感センサーが働かない

センサーの感知部(レンズ)が汚れていると、感知しにくくなります。柔らかい布でレンズを拭いてください。	—
設定が全て「OFF」のときは、人感センサーは動作しません。	19

人感センサーの感知範囲に人がいるのに、感知されない

静止している人は、感知されません。	—
周囲の温度と体温との差が小さいと、人感センサーは感知しにくくなります。	—

人感センサーの感知範囲に人がいないのに、モニターが作動する

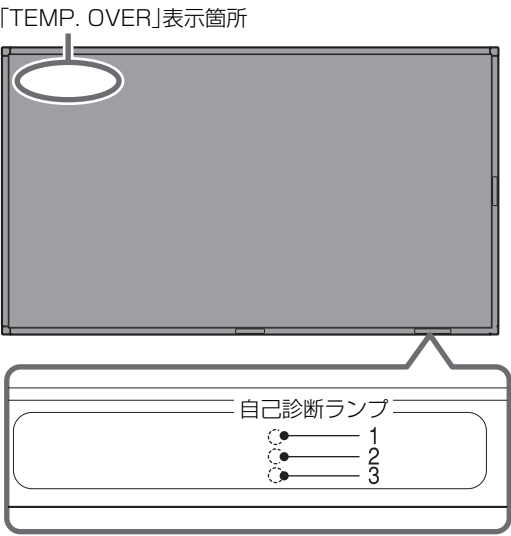
- 次のようなものが感知範囲内にあると、センサーが動きを感知して、モニターが作動することがあります。 - 犬や猫などの動物が動いている。 - カーテンや植物など、風でゆれるものがある。	—
--	---

こんなときは故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。
パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。
- 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ故障ではありません。
 - ・ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる場合。
 - ・本体の天面や背面の一部が熱くなっている場合。
 - ・本機から「ミシッ」という音がする場合。
 - ・本体の内部から動作音が聞こえる場合。

自己診断表示

本機には自己診断機能がついています。本機に異常が起きたときに、ランプで本機の状態をお知らせし、より迅速にサービス対応させていただくための機能です。



- 画面が消え、自己診断ランプが点灯／点滅したら
自己診断ランプが赤く点灯／点滅したら、どのランプが点灯／点滅しているか確認の上、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
・お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談の際は、下記報告書をコピーし、ファックス用紙としてご利用ください。
- 本体背面のPOWER(主電源)スイッチを「○(切)」にし、電源コードを抜いてから、「お手入れのしかた」(P.3ページ)にしたがって掃除をしてください。
- 掃除をして主電源を入れ直しても自己診断表示が消えないときは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

- 画面が暗くなり、「TEMP. OVER」の表示が点灯(点滅)したら
設定環境やホコリの影響で本機の内部温度が上昇すると、本機は画面を暗くして電力消費を下げ、内部温度の上昇を抑制します。このとき「TEMP. OVER」が表示されたら、下記にしたがってお買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
- 「TEMP. OVER」が黄色く点滅しているとき
背面および底面の通気孔にホコリが付着していることが考えられます。
- 本体背面のPOWER(主電源)スイッチを「○(切)」にし、電源コードを抜いてから、「お手入れのしかた」(P.3ページ)にしたがって掃除をしてください。
- 掃除をして主電源を入れ直しても「TEMP. OVER」表示が消えないときは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
- 通気孔にホコリが付着していないで、表示が出ているときは、設置環境が原因と考えられます。お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談の上、設置環境を改善してください。

- 「TEMP. OVER」が赤く点灯しているとき
2分間「TEMP. OVER」を表示した後、自動的に本機の電源が切れ、自己診断ランプが赤く点灯します。
- 本体背面のPOWER(主電源)スイッチを「○(切)」にし、電源コードを抜いてから、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

お知らせ

- ・ 主電源を切つてすぐにもう一度主電源を入れると、自己診断ランプが点灯(または点滅)し、映像が出ないことがあります。(瞬間的な停電も含みます。)このようなときは、一度主電源を切り、10秒以上たってから再び主電源を入れてください。自己診断ランプが点灯(または点滅)しなければ、そのままご使用ください。

お買い上げ販売店

御中

LCDモニター自己診断報告書

ビクターLCDモニターGM-F520S/GM-F470S/GM-F420Sの自己診断ランプが下記のように点灯(点滅)しました。サービス対応をお願いいたします。

自己診断ランプの状態

	ランプ位置	状態	
1	上	点灯	点滅
2	中	点灯	点滅
3	下	点灯	点滅
TEMP. OVER		点灯	点滅

お名前	
電話番号	
ご住所	
型名	GM-F520S/GM-F470S/ GM-F420S(LCDモニター)

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、25～27ページの「故障かな?と思ったら」に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡していただきたい内容

品名	LCDモニター
型名	GM-F520S/GM-F470S/ GM-F420S
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	() -
訪問ご希望日	

■ 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。 +
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。 +
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店 () -
------	-----------------

愛情点検

●長年ご使用のモニター・ディスプレイ・テレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なおいかしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を
中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

主な仕様

一般

型名	GM-F520S		GM-F470S	GM-F420S
種類	LCDモニター			
画面サイズ	52V型ワイド		47V型ワイド	42V型ワイド
アスペクト比	16:9(ワイド)			
液晶パネル	52V型ワイド、アクティブマトリックスTFT		47V型ワイド、アクティブマトリックスTFT	42V型ワイド、アクティブマトリックスTFT
有効画面寸法	横幅115.2 cm × 高さ64.8 cm × 対角132.17 cm		横幅104.0 cm × 高さ58.48 cm × 対角119.31 cm	横幅93.03 cm × 高さ52.33 cm × 対角106.73 cm
表示画素数	1920(横)×1080(縦)			
表示色数	約1670万色(RGB各256色)		約10億7000万色(RGB各1024色)	
視野角(標準値)	左右:178° 上下:178°			
輝度(標準値)	700 cd/m ²			
コントラスト比(標準値)	2000:1		1000:1	
応答速度	8 msec		9 msec	
質量	39.8 kg 41.0 kg(スタンド装着時)		29.8 kg 31.0 kg(スタンド装着時)	25.0 kg 26.2 kg(スタンド装着時)
外形寸法	横幅119.92 cm × 高さ69.52 cm × 奥行16.15 cm スタンド装着時 横幅121.42 cm × 高さ69.92 cm × 奥行32.6 cm		横幅107.52 cm × 高さ62.04 cm × 奥行15.12 cm スタンド装着時 横幅109.04 cm × 高さ62.44 cm × 奥行32.6 cm	横幅96.36 cm × 高さ55.66 cm × 奥行15.12 cm スタンド装着時 横幅97.86 cm × 高さ56.06 cm × 奥行32.6 cm
使用電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz			
定格消費電流	6 A		5.4 A	4.7 A
対応信号フォーマット	HDMI 8ページ			
音声出力	内部:1.7 W + 1.7 W(インピーダンス8Ω) 外部:6 Ω～8 Ω 2.3 W + 2.3 W(インピーダンス6Ω時)			
スピーカー	2個内蔵(7 cm ×4 cm だ円形2個、インピーダンス8Ω)			
動作使用条件	温度0℃～35℃ 湿度20%～80%(非結露) (動作使用条件は設置環境により多少異なります。)		温度0℃～40℃ 湿度20%～80%(非結露) (動作使用条件は設置環境により多少異なります。)	

輸送上のお願い

本機は、精密機器のため輸送時には専用の包装材が必要になります。当社以外の包装材は、使用しないでください。

入出力端子

VIDEO IN	映像入力	BNC端子×1	1 V(p-p)/75 Ω
VIDEO OUT	映像出力	BNC端子×1	1 V(p-p)/75 Ω
RGB IN	RGB入力	D-sub 3列15ピン端子×1 (DDC2B対応)	
	映像信号:	G: 1 V(p-p)/75 Ω (同期含む) B, R: 0.7 V(p-p)/75 Ω	
	水平同期 (HD)	HD: 2.0 V(p-p)~5 V(p-p) (正・負極性)	
	垂直同期 (VD)	VD: 2.0 V(p-p)~5 V(p-p) (正・負極性)	
RGB OUT	RGB出力	D-sub 3列15ピン端子×1	
	映像信号:	G: 1 V(p-p)/75 Ω (同期含む) B, R: 0.7 V(p-p)/75 Ω	
	水平同期 (HD)	HD: 5 V(p-p) (正・負極性)	
	垂直同期 (VD)	VD: 5 V(p-p) (正・負極性)	
DVI-D(HDCP)	DVI入力 (HDCP対応)	DVI-D端子×1 (DDC2B対応)	
AUDIO1 IN	音声入力	ピンジャック端子×2 (L/R)、500 mV(rms)/ハイインピーダンス	
AUDIO2 IN	音声入力	ステレオミニジャック端子×1、500 mV(rms)/ハイインピーダンス	
REMOTE	RS-232C入力	D-sub 9ピン端子×1 (RS-232Cコントロール用)	
	RS-485入力	RJ-45ピン端子×1 (RS-485、MAKE、TRIGGERコントロール用)	
	RS-485出力	RJ-45ピン端子×1 (RS-485、IR OUTコントロール用)	
	LAN	RJ-45ピン端子×1 (LANコントロール用)	
AUDIO OUT	AUDIO1 OUT	ピンジャック端子×2 (L/R)、出力インピーダンス600 Ω	
	AUDIO2 OUT	ステレオミニジャック端子×1、出力インピーダンス600 Ω	
	EXT. SPEAKER OUT	スピーカー出力端子 (L/R)、インピーダンス6 Ω~8 Ω	
AC OUT	AC電源出力	IEC320型×1、定格電流2 A	

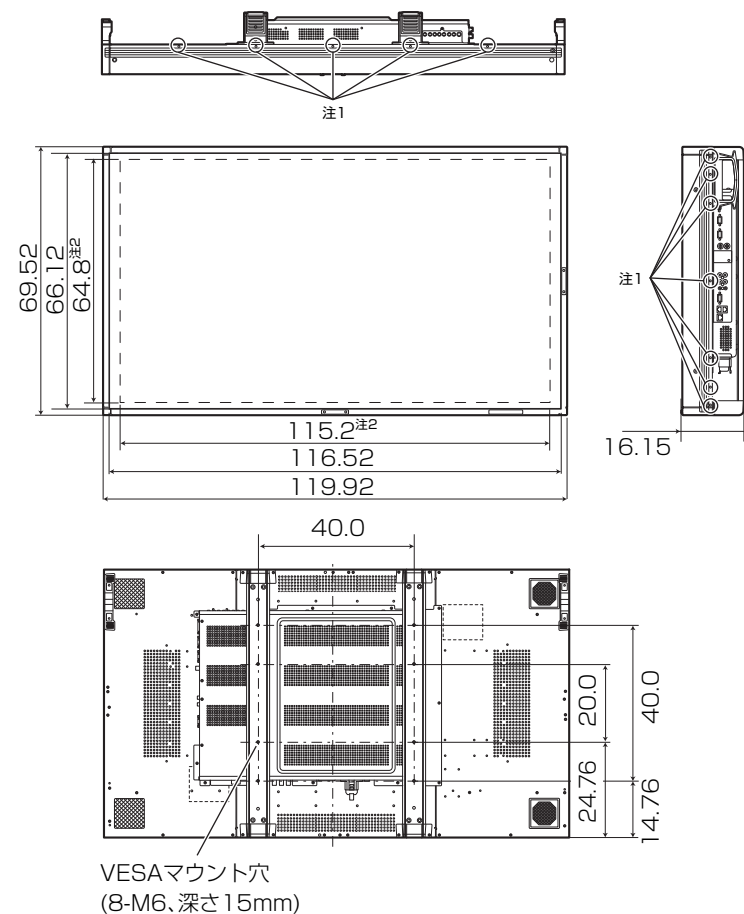
- ・ 本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This display set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ・ 画面サイズのV型(47V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
- ・ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
- ・ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・ 本機は「電気用品安全法適合品」および「JIS C 61000-3-2適合品」です。
- ・ その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

外形寸法図

GM-F520S

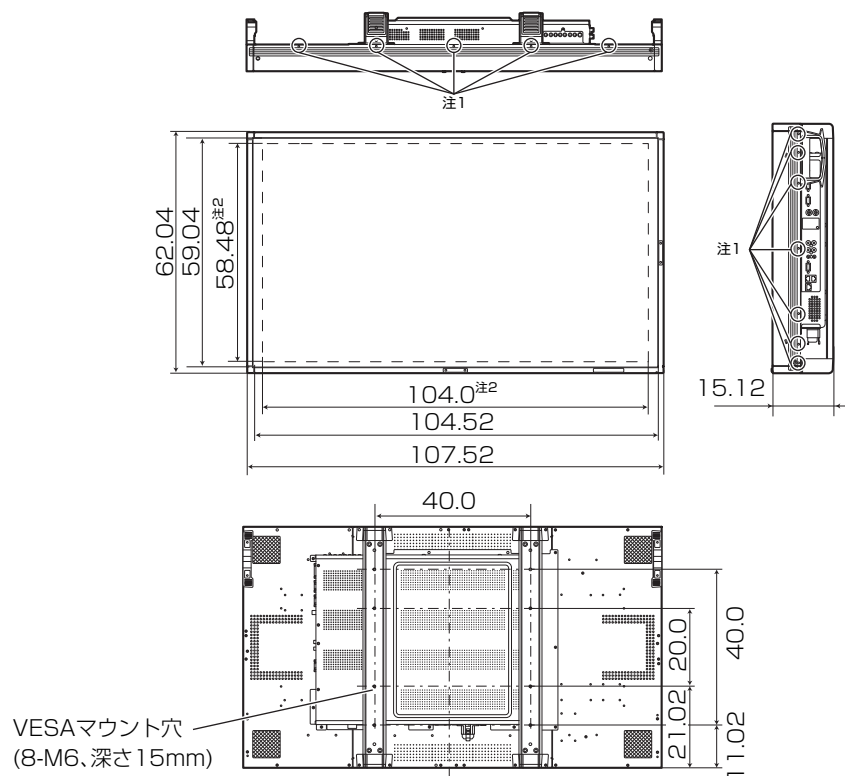
単位: cm

注1 付属品やオプション品の取り付け穴
注2 有効画面寸法

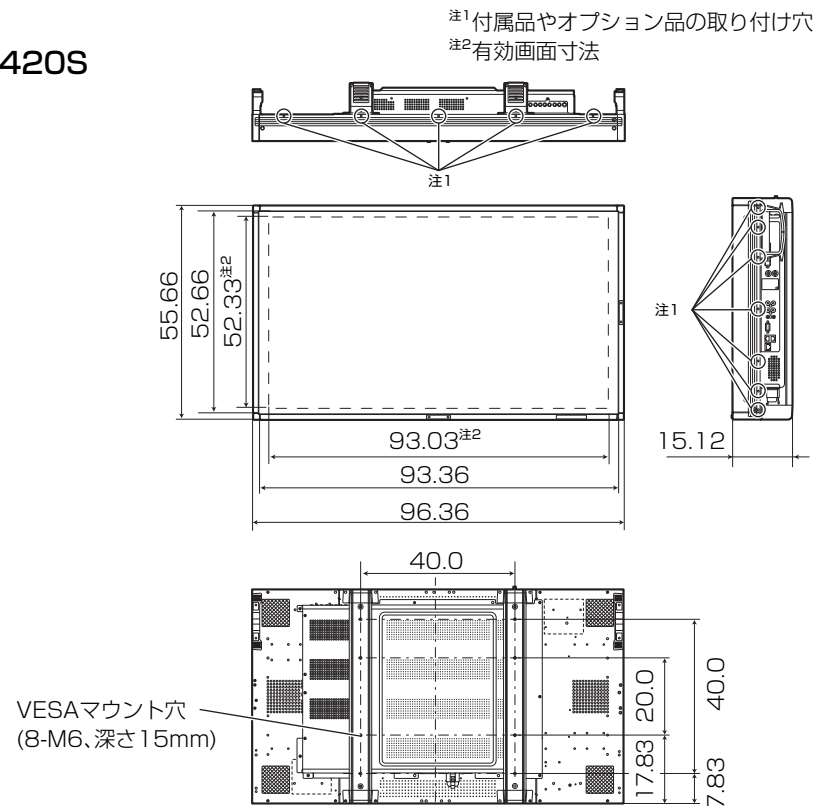


外形寸法図

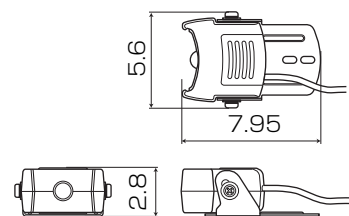
GM-F470S



GM-F420S



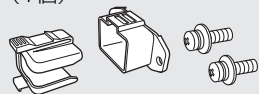
人感センサー



付属品一覧

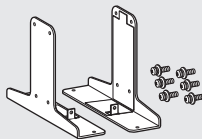
リモコン(RM-C1730) (1個)
単3乾電池(リモコン用) (2個)
電源コード(1本)

電源コードホルダー(1個)
ねじ(電源コードホルダー用) (2本)



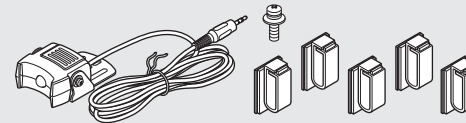
スタンドユニット

スタンド本体(1対)、
ねじ(M4×12mm) (6本)

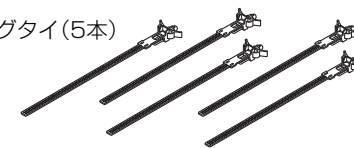


人感センサーユニット

人感センサー本体(1個)、ねじ(M4×12mm)
(1本)、コードクランプ(5個)



スナッピングタイ(5本)



シール(バッジ取り付け位置用: 1枚)



単位: cm

製品についてのご相談や修理のご依頼は
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、28ページをご覧ください。

修理に関するご相談

お買い物情報や全般的なご相談

28ページをご覧ください。

お客様ご相談センター

 0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045) 450-8950

FAX (045) 450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12